

# 東京2020大会を支えたボランティアに関する 研究 その2

## —大会・都市ボランティアの特徴から—

二宮雅也  
(文教大学)

### 1 はじめに

2021年7月24日に開幕した東京2020大会から一年後の2022年7月、大会の招致、開催に尽力した安倍晋三元首相が銃撃され死亡する事件が発生した。また、東京2020大会組織委員会の元理事が、大会スポンサーから多額の資金提供を受けた疑惑で、東京地検特捜部が捜査を開始した。

東京2020大会は私たちの社会にどんな影響を与えたのか。この点について、社会、教育、福祉、経済、環境等、さまざまな側面からの検証が必要になる。特に、一年後というタイミングは検証のキックオフ的な位置付けでもあり、今後長期にわたってさまざまな角度からのさらなる検証が必要である。

そんなタイミングで発生した上記の二つの出来事は、その内容は全く異なるものの、東京2020大会の一年後というタイミングとも重なり、多くのメディアが関連づけて報道した。そして東京2020大会のイメージは「スポーツを通じた平和の祭典」どころか、金と政治に道具化されたイメージがますます強くなってしまった。

本稿が対象とする東京2020大会を支えた大会ボランティア、都市ボランティア（以下、「大会ボラ」「都市ボラ」と略す）は、こうした出来事とは関係なく、コロナ禍で大会を全力で支えた存在であり、ボランティアなくして大会の実施はあり得なかった。大会開催の賛否が飛び交い、不安を拭いきれない中で参加したボランティアの功績は本当に大きい。

そして、東京2020大会のボランティアレガシーは着実に定着しつつある。例えば、2022年9月17日～10月9日に開催された「楽天・ジャパン・オープン・テニス・チャンピオンシップス2022」では、多くの東京2020大会ボランティア経験者が大会を支えた。これまで各競技を司る協会関係者の動員により大会運営がなされてきた側面のある我が国において、こうした変革はまさにボランティアレガシーとして着目されるポイントで

ある。また、公益財団法人日本財団ボランティアセンター（以下、「ボラセン」と略す）が運営するボランティアプラットフォーム「ボ活」においても、東京2020大会ボランティア経験者の登録が多くあり、スポーツだけでなく、農業や環境、災害といった分野でも多くのボランティア経験者が活動を継続している（注1）。

また、二宮（2022）は、大会直後の大会ボランティアを対象とした調査結果から表1の通り特に五つの特徴を把握した。これらの結果は、笹川スポーツ財団がラグビーワールドカップ2019大会後に行った大規模なボランティア調査結果と一致している内容もあるが、特に、パラリンピックを通じて得られるものの独自性など、大会の種別にも影響されることが把握された。しかし、無観客開催によって大きな影響を受けた都市ボラの分析が行えなかったことは、課題として残された。

表1 東京2020大会ボランティアの活動から得られたことの特徴

オリンピック単一よりもパラリンピック、オリ・パラ両方の大会に参加したボランティアにおいて、障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身につく傾向にある。
女性は活動を通じた日常生活の変化、視野の拡大といった自己実現、ならびに人との交流や新たな友人獲得といった交流意識が高い。
若い世代は語学をはじめとする特技やスキルの発揮、日常生活の変化が高い。
10日以上、一定期間活動をしたボランティアの満足度が高い。
今後のボランティア活動意向について、普段からボランティア活動をしている人は継続意欲が高いが、東京2020大会ではじめてボランティアをした人の継続意欲はそれに比べて低い。

こうした現況を踏まえ、本研究は、大会から一年が過ぎたタイミングで、改めて東京2020大会に大会ボラ、都市ボラとして関わったボランティアのそれぞれの参加動機と活動後の実感度や、現在の活動状況など、東京2020大会がボランティアに与えた影響の側面から分析することを目的とする。オリンピック、パラリンピックといった異なる二つのイベントとそれを支えるボランティアの特性、ならびに、大会ボラ、都市ボラといった役割の異なるボランティアが支える大会であるという特殊性から、動機や達成度、あるいは今後のボランティア継続意識に関わる分析は、今後の基礎資料としても重要であると考えられる。

## 2 研究方法

### 2-1 調査概要

本研究では、ボラセンが実施した「東京2020大会『ボランティア』一年後調査」を利

用する。このデータはボラセンのメルマガ会員を対象として行った web アンケート調査から収集されたものである。調査期間は、2022年5月16日から6月29日である。得られたサンプルから、東京2020大会で活動経験のあった、大会ボランティア、都市ボランティアをそれぞれ抽出し、大会ボランティア（有効サンプル数5,643）、都市ボランティア（有効サンプル数2,019）として分析を行った。

## 2-2 調査項目

調査項目は、基本的属性（性別、年齢、居住地、職業、現在のボランティア活動、活動頻度、活動方法、過去のボランティア内容）を調査した。その他項目に関しては、関連する先行調査を参考に、ボランティア活動をする理由、ボランティア活動をしない理由、活動したいボランティア活動、提供してほしいサポート内容、東京2020大会に関するボランティア情報源、東京2020大会への申込状況、参加動機、活動から得られたことや感じたこと、大会後の考え方や行動の変化、ボランティアメンバーとの継続的なつながり、支給品の活用法、登録プラットフォームについて調査した。

## 2-3 分析方法

本研究は、上記の調査項目の中から、大会ボランティアと都市ボランティアの2つのボランティア種別、3つの大会種別（オリンピック・パラリンピック・オリパラ両方）、基本的属性別に、参加動機、活動から得られたことや感じたこと、大会後の考え方や行動の変化、現在の活動状況に絞って分析を行ったものである（注2）。なお、全ての統計処理はIBM SPSS Statistics 27を用い、クロス集計および $\chi^2$ 検定を実施した。また連関係数としてCramer's Vを使用した。

## 2-4 倫理的配慮

調査研究の目的を web アンケートの冒頭に記載するとともに、調査データの使用については、全体的なデータとして統計的分析を加えるため、個人が特定されないことを説明した。これらについて理解し、調査への同意が得られた者の回答のみを分析対象としている。

# 3 結果と考察

東京2020大会における大会ボラ、都市ボラのうち、それぞれオリンピックボランティア（以下、「オリボラ」と略す）、パラリンピックボランティア（以下、「パラボラ」と

略す), オリンピック・パラリンピック両大会ボランティア (以下, 「オリ・パラボラ」と略す) の三つのボランティア種別 (大会種別) ごとに, ボランティアへの参加動機や大会から得られたものや感じたこと, 満足度について, 大会ボラ, 都市ボラの特徴, ならびに基本的属性との連関を分析した。

### 3-1 回答者の基本的属性

性別をみると, 大会ボラ (男性47.3%, 女性51.9%), 都市ボラ (男性49.1%, 女性50.0%), とそれぞれ女性がやや多かった。次に, 年代別にみると, 大会ボラ (50代34.9%, 60代34.2%, 40代13.8%), 都市ボラ (60代35.2%, 50代30.5%, 40代10.2%) となっており, 大会ボラで最も多いのは50代, 都市ボラでは60代であり, それぞれ40代から60代が全体の約8割を占めた。

活動日数では, 大会ボラが「10日～20日」の割合が, 都市ボラでは「2日～5日」が最も多くなっている。

「ボランティア経験」では, 「現在も活動している」が大会ボラ, 都市ボラともに最も多かった (表2)。

表2 回答者の基本的属性

項目	区分	大会ボラ (n = 5,643)		都市ボラ (n = 2,019)	
		人数	%	人数	%
性別	男性	2,671	47.3	992	49.1
	女性	2,928	51.9	1,009	50.0
	その他 (その他・回答しない)	44	0.8	18	0.9
年齢	10代・20代	141	2.5	27	1.3
	30代	242	4.3	65	3.2
	40代	781	13.8	206	10.2
	50代	1,970	34.9	616	30.5
	60代	1,932	34.2	711	35.2
	70代以上	577	10.2	394	19.5
活動日数	1日	212	3.8	195	9.7
	2日～5日	1,147	20.3	677	33.5
	6日～9日	1,243	22.0	368	18.2
	10日～20日	2,294	40.7	541	26.8
	21日以上	747	13.2	238	11.8
ボランティア経験	現在も活動している	2,938	52.1	1,330	65.9
	1年以上前は活動していたが, 現在は活動していない	1,015	18.0	326	16.1
	東京2020大会以外, 活動したことがない	1,690	29.9	363	18.0

### 3-2 ボランティアへの参加動機と活動から得たもの

#### (1) 参加動機と活動から得られたもの

大会ボラと都市ボラの両方について、ボランティアへの参加動機と活動から得られたもの17項目について、5段階（「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「ややあてはまらない」「あてはまらない」）を3段階（「あてはまる」「どちらともいえない」「あてはまらない」）にリコードし、単純集計を行った（表3、4）。

大会ボラでは、参加動機において「あてはまる」が最も多いのは、「東京2020大会に関わりたかったから」（98.7%）で、次いで、「東京2020大会の成功の一助になりたかったから」（94.6%）、「自分の視野を広げたかったから」（90.0%）となっている。また、活動から得たものにおいて、「あてはまる」が最も多いのは、「東京2020大会に関わることができた」（95.6%）で、次いで、「人と交流することができた」（87.7%）、「自分の視野を広げることができた」（87.2%）となっている。

都市ボラでは、参加動機において「あてはまる」が最も多いのは、「東京2020大会に関わりたかったから」（98.1%）で、次いで、「東京2020大会の成功の一助になりたかったから」（94.6%）、「自分の視野を広げたかったから」（89.7%）となっている。また、活動から得たものにおいて、「あてはまる」が最も多いのは、「東京2020大会に関わることができた」（91.1%）で、次いで、「人と交流することができた」（83.7%）、「自分の視野を広げることができた」（82.2%）となっている。

表3 大会ボラの参加動機と活動から得られたもの (n=5,643)

応募動機	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	活動から得られたもの	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない
東京2020大会の成功の一助になりたかったから	94.6	3.9	1.4	東京2020大会の成功の一助になることができた	84.2	11.8	4.0
東京2020大会に関わりたかったから	98.7	0.8	0.5	東京2020大会に関わることができた	95.6	2.7	1.6
一流の選手に会いたかったから	48.2	26.4	25.4	一流の選手に会えた	51.4	17.1	31.5
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	61.1	20.6	18.3	コロナ禍でがんばっている選手を応援できた	68.5	17.0	14.5
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	53.3	27.8	18.8	障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた	42.9	28.5	28.6
人の役に立ったと感じたかったから	78.3	14.6	7.1	人の役に立ったと感じられた	75.4	17.5	7.1
自分の視野を広げたかったから	90.0	7.0	3.0	自分の視野を広げることができた	87.2	9.1	3.6
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	75.6	15.6	8.8	自分の日常生活に変化をもたらすことができた	82.8	11.8	5.4

応募動機	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	活動から得られたもの	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない
キャリアにつながる経験がしたかったから	41.5	33.6	24.9	キャリアにつながる経験ができた	43.5	32.4	24.1
語学力をいかしたかったから	45.1	24.1	30.9	語学力をいかすことができた	38.6	24.4	36.9
語学力以外のスキルや特技を生かしたかったから	40.3	30.8	29.0	語学力以外のスキルや特技を生かすことができた	37.2	30.2	32.6
興味のあるスポーツに関わりたかったから	57.4	23.8	18.9	興味のあるスポーツに関わることができた	46.0	23.6	30.3
人と交流したかったから	83.1	12.0	4.9	人と交流することができた	87.7	7.4	4.9
新たな友人を作りたいから	58.4	28.3	13.3	新たな友人を作ることができた	61.4	21.1	17.5
やりがいのあることをしたかったから	89.5	7.7	2.8	やりがいのあることができた	79.7	12.9	7.4
観光案内をしたかったから	21.3	34.3	44.4	観光案内ができた	11.9	24.3	63.8
自分の住む街を紹介したかったから	19.4	32.7	47.9	自分の住む街を紹介できた	10.6	22.9	66.5

表4 都市ボラの参加動機と活動から得られたもの (n=2,019)

応募動機	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	活動から得られたもの	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない
東京2020大会の成功の一助になりたかったから	94.6	3.6	1.8	東京2020大会の成功の一助になることができた	77.5	15.7	6.8
東京2020大会に関わりたかったから	98.1	1.1	0.7	東京2020大会に関わることができた	91.1	5.6	3.3
一流の選手に会いたかったから	38.0	28.9	33.0	一流の選手に会えた	38.1	16.9	45.0
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	60.0	21.8	18.2	コロナ禍でがんばっている選手を応援できた	58.4	19.6	22.0
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	57.3	25.2	17.5	障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた	45.4	26.8	27.8
人の役に立ったと感じたかったから	80.3	13.1	6.5	人の役に立ったと感じられた	68.3	20.0	11.7
自分の視野を広げたかったから	89.7	7.1	3.1	自分の視野を広げることができた	82.2	12.6	5.2
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	74.4	16.7	8.9	自分の日常生活に変化をもたらすことができた	78.0	14.4	7.7
キャリアにつながる経験がしたかったから	40.5	33.7	25.9	キャリアにつながる経験ができた	39.0	34.0	27.0
語学力をいかしたかったから	49.1	22.4	28.5	語学力をいかすことができた	33.0	23.7	43.3
語学力以外のスキルや特技を生かしたかったから	38.0	31.9	30.1	語学力以外のスキルや特技を生かすことができた	32.1	29.0	38.8
興味のあるスポーツに関わりたかったから	51.2	27.1	21.6	興味のあるスポーツに関わることができた	38.8	24.8	36.4

応募動機	あてはまる	どちらとも いえない	あてはま らない	活動から得られたもの	あては まる	どちらとも いえない	あてはま らない
人と交流したかったから	84.2	11.1	4.7	人と交流することができ た	83.7	9.4	6.9
新たな友人を作りたいか ったから	57.4	28.8	13.8	新たな友人を作ることが できた	52.8	24.5	22.7
やりがいのあることをし たかったから	89.2	7.7	3.1	やりがいのあることがで きた	72.2	16.2	11.6
観光案内をしたかったか ら	44.7	31.6	23.6	観光案内ができた	19.1	25.3	55.6
自分の住む街を紹介した かったから	39.3	32.2	28.5	自分の住む街を紹介でき た	16.1	24.2	59.7

大会ボラと都市ボラの参加動機、活動から得られたものについて、特に上位項目に大きな違いはみられなかった。活動から得られたものについて、大会ボラよりも都市ボラの方が「あてはまる」への回答が若干低い傾向にあった。

さらに、参加動機と活動から得られたものについて、クロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、全ての項目において有意な差が認められた(表5, 6)。参加動機を期待度、活動から得られたことを実感度としてみると、それぞれの項目で期待度が強いほど実感度も大きい傾向にあった。一方、大会ボラでは「人と交流したかったから」「自分の日常生活に変化をもたらしたかったから」「自分の視野を広げたかったから」、都市ボラでは「人と交流したかったから」「自分の日常生活に変化をもたらしたかったから」について、期待度が低かった群においても、実感度が大きい傾向があった。これは、さまざまな内容のボランティア活動を通じて、参加前に想定していた以上の交流や経験を経た結果が、このような実感度の上昇に影響したと推測される。

表5 大会ボラの参加動機と活動から得られたものの連関

		東京2020大会の成功の一助になることができた			$\chi^2$	P	V
		あては まる	どちらとも いえない	あてはま らない			
東京2020大会の成功の一助 になりたかったから	あてはまる (n = 5,341)	86.5	10.4	3.0	633.57	<0.001	0.237
	どちらともいえない (n = 221)	45.2	41.2	13.6			
	あてはまらない (n = 81)	34.6	21.0	44.4			
		東京2020大会に関わる事ができた			$\chi^2$	P	V
		あては まる	どちらとも いえない	あてはま らない			
東京2020大会に関わりた かったから	あてはまる (n = 5,568)	96.2	2.4	1.4	381.27	<0.001	0.184
	どちらともいえない (n = 45)	62.2	26.7	11.1			
	あてはまらない (n = 30)	46.7	16.7	36.7			

		一流の選手に会えた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
一流の選手に会いたかったから	あてはまる (n = 2,721)	71.8	11.8	16.4	1178.20	<0.001	0.323
	どちらともいえない (n = 1,491)	38.7	29.0	32.3			
	あてはまらない (n = 1,431)	25.9	14.6	59.5			
		コロナ禍でがんばっている選手を応援できた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	あてはまる (n = 3,450)	84.4	9.9	5.6	1360.95	<0.001	0.347
	どちらともいえない (n = 1,162)	46.1	36.1	17.8			
	あてはまらない (n = 1,031)	40.2	19.4	40.4			
		障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	あてはまる (n = 3,009)	61.8	24.2	14.0	1470.14	<0.001	0.361
	どちらともいえない (n = 1,571)	23.7	44.3	32.0			
	あてはまらない (n = 1,063)	17.9	17.1	65.0			
		人の役に立ったと感じられた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
人の役に立ったと感じたかったから	あてはまる (n = 4,417)	83.2	12.3	4.5	841.21	<0.001	0.273
	どちらともいえない (n = 826)	49.6	40.0	10.4			
	あてはまらない (n = 400)	42.3	28.0	29.8			
		自分の視野を広げることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の視野を広げたかったから	あてはまる (n = 5,076)	91.0	6.9	2.2	966.10	<0.001	0.293
	どちらともいえない (n = 395)	58.0	34.2	7.8			
	あてはまらない (n = 172)	44.2	19.2	36.6			
		自分の日常生活に変化をもたらすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	あてはまる (n = 4,267)	91.3	6.6	2.1	1275.70	<0.001	0.336
	どちらともいえない (n = 878)	60.8	32.3	6.8			
	あてはまらない (n = 498)	48.8	20.7	30.5			



東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

		キャリアにつながる経験ができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
キャリアにつながる経験が しなかったから	あてはまる (n = 2,342)	73.6	19.4	7.0	2495.65	<0.001	0.470
	どちらともいえない (n = 1,896)	29.2	54.1	16.7			
	あてはまらない (n = 1,405)	12.5	24.9	62.6			
		語学力をいかすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
語学力をいかしたかったから	あてはまる (n = 2,342)	71.9	15.0	13.1	3402.82	<0.001	0.549
	どちらともいえない (n = 1,896)	18.3	55.7	25.9			
	あてはまらない (n = 1,405)	5.9	13.7	80.4			
		語学力以外のスキルや特技を生かすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
語学力以外のスキルや特技 を生かしたかったから	あてはまる (n = 2,272)	69.1	19.4	11.5	2825.42	<0.001	0.500
	どちらともいえない (n = 1,737)	21.2	56.5	22.3			
	あてはまらない (n = 1,634)	9.9	17.3	72.9			
		興味のあるスポーツに関わることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
興味のあるスポーツに関わ りたかったから	あてはまる (n = 2,272)	66.2	16.2	17.6	1852.74	<0.001	0.405
	どちらともいえない (n = 1,737)	22.3	48.2	29.5			
	あてはまらない (n = 1,634)	14.6	15.5	70.0			
		人と交流することができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
人と交流したかったから	あてはまる (n = 4,689)	92.2	4.8	3.0	682.27	<0.001	0.246
	どちらともいえない (n = 675)	68.3	22.7	9.0			
	あてはまらない (n = 279)	59.9	12.5	27.6			
		新たな友人を作ることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
新たな友人を作った から	あてはまる (n = 3,294)	73.2	39.2	29.7	1223.38	<0.001	0.329
	どちらともいえない (n = 1,599)	19.9	50.2	31.6			
	あてはまらない (n = 750)	7.0	10.7	38.6			

		やりがいのあることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
やりがいのあることをした なかったから	あてはまる (n=4,230)	83.7	10.4	5.8	595.09	<0.001	0.230
	どちらともいえない (n=213)	49.1	37.1	13.8			
	あてはまらない (n=57)	36.3	24.2	39.5			
		観光案内ができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
観光案内をしたかったから	あてはまる (n=1,202)	36.4	26.4	37.3	2154.79	<0.001	0.437
	どちらともいえない (n=1,935)	8.1	47.7	44.2			
	あてはまらない (n=2,506)	3.2	5.2	91.6			
		自分の住む街を紹介できた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の住む街を紹介した なかったから	あてはまる (n=1,095)	39.3	25.5	35.3	2552.18	<0.001	0.476
	どちらともいえない (n=1,846)	6.1	48.0	45.8			
	あてはまらない (n=2,702)	2.0	4.7	93.3			

表6 都市ボラの参加動機と活動から得られたものの連関

		東京2020大会の成功の一助になることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
東京2020大会の成功の一助 になりたかったから	あてはまる (n=1,910)	80.1	14.4	5.5	199.99	<0.001	0.223
	どちらともいえない (n=72)	37.5	43.1	19.4			
	あてはまらない (n=37)	21.6	27.0	51.4			
		東京2020大会に関わることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
東京2020大会に関わりた かったから	あてはまる (n=1,981)	91.9	5.0	3.0	114.72	<0.001	0.169
	どちらともいえない (n=23)	52.2	43.5	4.3			
	あてはまらない (n=15)	46.7	20.0	33.3			

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

		一流の選手に会えた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
一流の選手に会いたかったから	あてはまる (n = 768)	64.3	12.0	23.7	523.45	<0.001	0.360
	どちらともいえない (n = 584)	28.8	30.5	40.8			
	あてはまらない (n = 667)	16.2	10.6	73.2			
		コロナ禍でがんばっている選手を応援できた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	あてはまる (n = 1,212)	75.7	12.8	11.5	526.39	<0.001	0.361
	どちらともいえない (n = 440)	33.9	41.6	24.5			
	あてはまらない (n = 367)	30.5	15.8	53.7			
		障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	あてはまる (n = 1,157)	63.4	22.6	14.0	488.16	<0.001	0.348
	どちらともいえない (n = 508)	23.8	40.9	35.2			
	あてはまらない (n = 354)	17.5	20.1	62.4			
		人の役に立ったと感じられた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
人の役に立ったと感じたかったから	あてはまる (n = 1,622)	76.0	15.4	8.6	254.93	<0.001	0.251
	どちらともいえない (n = 265)	37.7	43.0	19.2			
	あてはまらない (n = 132)	34.1	31.1	34.8			
		自分の視野を広げることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の視野を広げたかったから	あてはまる (n = 1,812)	86.5	9.9	3.5	331.14	<0.001	0.286
	どちらともいえない (n = 144)	47.9	42.4	9.7			
	あてはまらない (n = 63)	36.5	22.2	41.3			
		自分の日常生活に変化をもたらすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	あてはまる (n = 1,502)	87.3	8.5	4.2	1275.70	<0.001	0.336
	どちらともいえない (n = 338)	54.7	37.3	8.0			
	あてはまらない (n = 179)	43.6	20.1	36.3			

		キャリアにつながる経験ができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
キャリアにつながる経験が したかったから	あてはまる (n=817)	68.3	22.3	9.4	805.15	<0.001	0.447
	どちらともいえない (n=680)	25.0	54.7	20.3			
	あてはまらない (n=552)	11.3	25.5	63.2			
		語学力をいかすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
語学力をいかしたかったから	あてはまる (n=992)	59.1	19.0	22.0	941.35	<0.001	0.483
	どちらともいえない (n=452)	12.4	50.9	36.7			
	あてはまらない (n=575)	4.2	10.6	85.2			
		語学力以外のスキルや特技を生かすことができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
語学力以外のスキルや特技 を生かしたかったから	あてはまる (n=767)	63.9	21.9	14.2	918.30	<0.001	0.477
	どちらともいえない (n=645)	17.8	50.5	31.6			
	あてはまらない (n=607)	7.2	15.2	77.6			
		興味のあるスポーツに関わることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
興味のあるスポーツに関わ りたかったから	あてはまる (n=1,034)	61.5	17.5	21.0	684.42	<0.001	0.412
	どちらともいえない (n=548)	16.4	48.0	35.6			
	あてはまらない (n=437)	13.3	12.8	73.9			
		人と交流することができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
人と交流したかったから	あてはまる (n=1,699)	88.2	6.9	4.9	180.76	<0.001	0.212
	どちらともいえない (n=225)	61.8	24.9	13.3			
	あてはまらない (n=95)	55.8	16.8	27.4			
		新たな友人を作ることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
新たな友人を作った から	あてはまる (n=1,158)	69.1	19.3	11.7	431.14	<0.001	0.327
	どちらともいえない (n=582)	35.1	37.8	27.1			
	あてはまらない (n=279)	22.6	18.3	59.1			

		やりがいのあることができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
やりがいのあることをした なかったから	あてはまる (n=4230)	76.8	13.7	9.5	242.26	<0.001	0.245
	どちらともいえない (n=213)	36.5	44.2	19.2			
	あてはまらない (n=57)	25.8	21.0	53.2			
		観光案内ができた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
観光案内をしたかったから	あてはまる (n=903)	33.8	24.9	41.3	488.81	<0.001	0.348
	どちらともいえない (n=639)	9.5	41.6	48.8			
	あてはまらない (n=477)	4.2	4.2	91.6			
		自分の住む街を紹介できた			$\chi^2$	P	V
		あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない			
自分の住む街を紹介した なかったから	あてはまる (n=794)	34.3	25.9	39.8	585.49	<0.001	0.381
	どちらともいえない (n=650)	5.7	39.5	54.8			
	あてはまらない (n=575)	3.0	4.3	92.7			

## (2) 大会種別における特徴

参加動機について大会種別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは17項目中9項目において、都市ボラでは7項目において有意な差が認められた(表7, 8)。

大会ボラ、都市ボラとも、特に、「障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから」という項目において、オリボラよりもパラボラ、オリ・パラボラの方が「あてはまる」の回答が多かった。

表7 大会ボラの参加動機 (大会種別)

項目	大会別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になりたかったから	オリボラ (n = 2,587)	94.7	3.9	1.4	9.450	0.051	-
	パラボラ (n = 748)	92.5	5.2	2.3			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	95.3	3.5	1.2			
東京2020大会に関わりたかったから	オリボラ (n = 2,587)	98.3	1.0	0.7	5.516	0.238	-
	パラボラ (n = 748)	98.5	0.9	0.5			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	99.1	0.5	0.4			
一流の選手に会いたかったから	オリボラ (n = 2,587)	51.6	25.2	23.2	29.224	<0.001	0.051
	パラボラ (n = 748)	41.7	28.3	29.9			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	46.5	27.2	26.3			
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	オリボラ (n = 2,587)	59.1	21.6	19.3	63.890	<0.05	0.030
	パラボラ (n = 748)	60.8	20.3	18.9			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	63.5	19.5	17.0			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	オリボラ (n = 2,587)	40.9	34.4	24.7	301.728	<0.001	0.164
	パラボラ (n = 748)	62.7	22.7	14.6			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	64.3	22.1	13.6			
人の役に立ったと感じたかったから	オリボラ (n = 2,587)	77.9	14.7	7.4	5.635	0.228	-
	パラボラ (n = 748)	76.2	15.4	8.4			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	79.4	14.3	6.3			
自分の視野を広げたかったから	オリボラ (n = 2,587)	89.4	7.7	2.9	4.097	0.393	-
	パラボラ (n = 748)	91.2	5.9	2.9			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	90.1	6.6	3.2			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	77.4	14.4	8.2	15.575	<0.05	0.037
	パラボラ (n = 748)	70.5	19.3	10.3			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	75.3	15.7	9.0			
キャリアにつながる経験がしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	43.4	33.2	23.5	28.121	<0.05	0.031
	パラボラ (n = 748)	37.8	34.1	28.1			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	40.6	33.9	25.5			

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	大会別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
語学力をいかしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	44.6	23.5	31.9	40.681	<0.001	0.060
	バラボラ (n = 748)	35.8	27.4	36.8			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	48.5	23.7	27.8			
語学力以外のスキルや特技をいかしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	39.0	31.7	29.3	30.205	<0.001	0.052
	バラボラ (n = 748)	33.6	32.5	34.0			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	43.9	29.2	26.9			
興味のあるスポーツに関わりたかったから	オリボラ (n = 2,587)	58.6	23.2	18.2	7.582	0.108	-
	バラボラ (n = 748)	53.5	24.7	21.8			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	57.2	24.1	18.7			
人と交流したかったから	オリボラ (n = 2,587)	82.3	12.6	5.1	4.134	0.388	-
	バラボラ (n = 748)	82.2	12.3	5.5			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	84.3	11.1	4.6			
新たな友人を作りたかったから	オリボラ (n = 2,587)	58.8	28.3	12.8	14.720	<0.05	0.036
	バラボラ (n = 748)	52.3	31.6	16.2			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	59.8	27.3	12.9			
やりがいのあることをしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	89.9	7.3	2.7	3.365	0.499	-
	バラボラ (n = 748)	88.4	8.0	3.6			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	89.4	8.0	2.6			
観光案内をしたかったから	オリボラ (n = 2,587)	21.1	34.4	44.5	38.093	<0.001	0.058
	バラボラ (n = 748)	13.9	34.8	51.3			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	24.0	34.0	42.0			
自分の住む街を紹介したかったから	オリボラ (n = 2,587)	21.1	34.4	44.5	38.093	<0.001	0.058
	バラボラ (n = 748)	13.9	34.8	51.3			
	オリ・バラボラ (n = 2,308)	24.0	34.0	42.0			

表8 都市ボラの参加動機 (大会種別)

項目	大会別	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になりたかったから	オリボラ (n=912)	94.3	3.9	1.8	4.493	0.343	-
	パラボラ (n=160)	92.5	3.8	3.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	95.2	3.2	1.6			
東京2020大会に関わりたかったから	オリボラ (n=912)	97.7	1.8	0.5	8.800	0.066	-
	パラボラ (n=160)	97.5	0.6	1.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	98.6	0.6	0.7			
一流の選手に会いたかったから	オリボラ (n=912)	36.7	28.5	34.8	5.834	0.212	-
	パラボラ (n=160)	33.1	34.4	32.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	40.1	28.4	31.5			
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	オリボラ (n=912)	58.4	23.4	18.2	9.540	<0.05	0.049
	パラボラ (n=160)	51.9	25.6	22.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	62.9	19.6	17.4			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	オリボラ (n=912)	47.8	31.6	20.6	63.890	<0.001	0.126
	パラボラ (n=160)	64.4	23.1	12.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	65.3	19.3	15.4			
人の役に立ったと感じたかったから	オリボラ (n=912)	80.2	12.4	7.5	3.246	0.517	0.028
	パラボラ (n=160)	80.0	15.0	5.0			
	オリ・パラボラ (n=947)	80.6	13.5	5.9			
自分の視野を広げたかったから	オリボラ (n=912)	88.6	8.6	2.9	8.892	0.064	-
	パラボラ (n=160)	87.5	6.9	5.6			
	オリ・パラボラ (n=947)	91.2	5.8	3.0			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	オリボラ (n=912)	75.5	16.8	7.7	17.263	<0.05	0.065
	パラボラ (n=160)	63.1	20.0	16.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	75.2	16.2	8.7			
キャリアにつながる経験がしたかったから	オリボラ (n=912)	40.1	35.0	24.9	3.671	0.452	-
	パラボラ (n=160)	35.6	34.4	30.0			
	オリ・パラボラ (n=947)	41.6	32.3	26.1			



東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	大会別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
語学力をいかしたかったから	オリボラ (n=912)	45.5	21.8	32.7	21.927	<0.001	0.074
	パラボラ (n=160)	43.1	24.4	32.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	53.6	22.6	23.8			
語学力以外のスキルや特技をいかしたかったから	オリボラ (n=912)	34.0	32.5	33.6	28.121	<0.001	0.083
	パラボラ (n=160)	28.1	36.3	35.6			
	オリ・パラボラ (n=947)	43.5	30.7	25.8			
興味のあるスポーツに関わりたかったから	オリボラ (n=912)	51.1	26.5	22.4	7.639	0.106	-
	パラボラ (n=160)	41.9	34.4	23.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	52.9	26.5	20.6			
人と交流したかったから	オリボラ (n=912)	83.8	11.4	4.8	3.980	0.409	-
	パラボラ (n=160)	81.9	15.0	3.1			
	オリ・パラボラ (n=947)	84.9	10.2	4.9			
新たな友人を作りたかったから	オリボラ (n=912)	56.8	29.1	14.1	5.753	0.218	-
	パラボラ (n=160)	50.0	31.9	18.1			
	オリ・パラボラ (n=947)	59.1	28.1	12.8			
やりがいのあることをしたかったから	オリボラ (n=912)	87.8	8.8	3.4	7.399	0.116	-
	パラボラ (n=160)	87.5	10.6	1.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	90.8	6.2	3.0			
観光案内をしたかったから	オリボラ (n=912)	46.9	31.6	21.5	13.606	<0.05	0.058
	パラボラ (n=160)	34.4	31.9	33.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	44.4	31.7	24.0			
自分の住む街を紹介したかったから	オリボラ (n=912)	43.1	32.3	24.6	22.699	<0.001	0.075
	パラボラ (n=160)	26.9	34.4	38.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	37.8	31.7	30.5			

また、活動から得たものについて大会種別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラ、都市ボラともに全ての項目において有意な差が認められた（表9、10）。

特に、「障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた」という項目において、オリボラよりもパラボラ、オリ・パラボラの方が「あてはまる」の回答が多かった（注3）。

大会種別にみた参加動機と活動から得られたことの両方の結果から、大会ボラ、都市ボラともに、パラリンピックを通じたボランティア活動が、障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキル獲得といったボランティア動機を達成させる傾向にあることが明らかになった。

表9 大会ボラの活動から得られたもの（大会種別）

項目	大会種別	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になることができた	オリボラ (n=2,587)	82.9	12.7	4.4	43.909	<0.001	0.062
	パラボラ (n=748)	79.0	14.0	7.0			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	87.3	10.0	2.7			
東京2020大会に関わることができた	オリボラ (n=2,587)	94.2	3.7	2.1	38.266	<0.001	0.058
	パラボラ (n=748)	94.8	2.7	2.5			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	97.6	1.6	0.8			
一流の選手に会えた	オリボラ (n=2,587)	51.9	16.0	32.1	33.014	<0.001	0.054
	パラボラ (n=748)	42.5	20.5	37.0			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	53.7	17.2	29.0			
コロナ禍でがんばっている選手を応援できた	オリボラ (n=2,587)	63.9	18.5	17.6	56.787	<0.001	0.071
	パラボラ (n=748)	70.1	16.0	13.9			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	73.1	15.7	11.2			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた	オリボラ (n=2,587)	26.6	31.8	41.6	600.629	<0.001	0.231
	パラボラ (n=748)	55.1	25.4	19.5			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	57.3	25.7	16.9			
人の役に立ったと感じられた	オリボラ (n=2,587)	73.1	18.4	8.4	45.086	<0.001	0.063
	パラボラ (n=748)	70.9	19.5	9.6			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	79.4	15.8	4.9			
自分の視野を広げることができた	オリボラ (n=2,587)	85.2	10.3	4.5	26.033	<0.001	0.048
	パラボラ (n=748)	86.4	10.0	3.6			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	89.8	7.5	2.6			
自分の日常生活に変化をもたらすことができた	オリボラ (n=2,587)	82.2	11.6	6.3	22.425	<0.001	0.045
	パラボラ (n=748)	78.9	15.8	5.3			
	オリ・パラボラ (n=2,308)	84.7	10.9	4.4			

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	大会種別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
キャリアにつながる経験ができた	オリボラ (n=2,587)	42.5	32.2	25.3	15.391	<0.05	0.037
	バラボラ (n=748)	40.5	32.0	27.5			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	45.5	32.8	21.7			
語学力をいかすことができた	オリボラ (n=2,587)	35.6	25.4	38.9	63.209	<0.001	0.075
	バラボラ (n=748)	31.3	25.1	43.6			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	44.4	23.1	32.5			
語学力以外のスキルや特技をいかすことができた	オリボラ (n=2,587)	35.1	30.9	34.0	46.097	<0.001	0.064
	バラボラ (n=748)	30.6	30.2	39.2			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	41.7	29.4	28.9			
人と交流することができた	オリボラ (n=2,587)	85.5	8.6	5.9	31.354	<0.001	0.053
	バラボラ (n=748)	86.5	8.2	5.3			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	90.6	5.7	3.6			
新たな友人を作ることができた	オリボラ (n=2,587)	57.4	22.0	20.6	121.002	<0.001	0.104
	バラボラ (n=748)	50.8	27.0	22.2			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	69.2	18.2	12.6			
やりがいのあることができた	オリボラ (n=2,587)	76.6	14.1	9.3	57.797	<0.001	0.072
	バラボラ (n=748)	76.3	15.1	8.6			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	84.4	10.7	4.9			
観光案内ができた	オリボラ (n=2,587)	11.7	24.5	63.7	35.748	<0.001	0.056
	バラボラ (n=748)	6.7	21.8	71.5			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	13.8	24.8	61.4			
自分の住む街を紹介できた	オリボラ (n=2,587)	10.8	23.5	65.8	24.293	<0.001	0.046
	バラボラ (n=748)	5.9	21.9	72.2			
	オリ・バラボラ (n=2,308)	11.9	22.6	65.6			

表10 都市ボラの活動から得られたもの（大会種別）

項目	大会種別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助にな ることができた	オリボラ (n=912)	71.5	20.3	8.2	52.410	<0.001	0.114
	パラボラ (n=160)	71.9	15.6	12.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	84.3	11.2	4.5			
東京2020大会に関わることが できた	オリボラ (n=912)	87.6	7.8	4.6	33.679	<0.001	0.091
	パラボラ (n=160)	88.1	7.5	4.4			
	オリ・パラボラ (n=947)	95.0	3.2	1.8			
一流の選手に会えた	オリボラ (n=912)	31.5	17.1	51.4	50.943	<0.001	0.112
	パラボラ (n=160)	31.3	15.0	53.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	45.7	17.0	37.3			
コロナ禍でがんばっている選手 を応援できた	オリボラ (n=912)	48.5	23.8	27.7	70.030	<0.001	0.132
	パラボラ (n=160)	61.9	16.9	21.3			
	オリ・パラボラ (n=947)	67.4	16.1	16.6			
障害のある人へのサポート方法 やコミュニケーションスキルが 身についた	オリボラ (n=912)	30.5	30.3	39.3	171.451	<0.001	0.206
	パラボラ (n=160)	53.1	21.3	25.6			
	オリ・パラボラ (n=947)	58.4	24.4	17.2			
人の役に立ったと感じられた	オリボラ (n=912)	62.6	22.4	15.0	43.022	<0.001	0.103
	パラボラ (n=160)	61.9	20.6	17.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	74.8	17.6	7.6			
自分の視野を広げることができ た	オリボラ (n=912)	77.1	15.7	7.2	36.627	<0.001	0.095
	パラボラ (n=160)	80.6	13.1	6.3			
	オリ・パラボラ (n=947)	87.4	9.6	3.0			
自分の日常生活に変化をもたら すことができた	オリボラ (n=912)	75.4	14.6	10.0	36.568	<0.001	0.095
	パラボラ (n=160)	65.6	21.9	12.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	82.5	12.9	4.6			
キャリアにつながる経験ができ た	オリボラ (n=912)	36.4	35.2	28.4	18.212	<0.05	0.067
	パラボラ (n=160)	32.5	30.0	37.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	42.6	33.6	23.9			

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	大会種別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
語学力をいかすことができた	オリボラ (n=912)	25.5	23.0	51.4	66.860	<0.001	0.129
	パラボラ (n=160)	29.4	21.3	49.4			
	オリ・パラボラ (n=947)	40.8	24.8	34.4			
語学力以外のスキルや特技をいかすことができた	オリボラ (n=912)	26.8	29.2	44.1	43.850	<0.001	0.104
	パラボラ (n=160)	25.0	26.9	48.1			
	オリ・パラボラ (n=947)	38.5	29.3	32.2			
興味のあるスポーツに関わることができた	オリボラ (n=912)	34.2	25.5	40.2	26.302	<0.001	0.081
	パラボラ (n=160)	35.6	20.0	44.4			
	オリ・パラボラ (n=947)	43.8	24.8	31.4			
人と交流することができた	オリボラ (n=912)	79.2	12.5	8.3	34.442	<0.001	0.092
	パラボラ (n=160)	80.6	8.8	10.6			
	オリ・パラボラ (n=947)	88.6	6.4	5.0			
新たな友人を作ることができた	オリボラ (n=912)	44.1	28.4	27.5	84.339	<0.001	0.145
	パラボラ (n=160)	40.6	26.3	33.1			
	オリ・パラボラ (n=947)	63.4	20.4	16.3			
やりがいのあることができた	オリボラ (n=912)	64.3	20.3	15.5	70.026	<0.001	0.132
	パラボラ (n=160)	66.3	16.9	16.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	80.8	12.2	7.0			
観光案内ができた	オリボラ (n=912)	21.2	26.5	52.3	23.466	<0.001	0.076
	パラボラ (n=160)	6.9	23.1	70.0			
	オリ・パラボラ (n=947)	19.2	24.5	56.3			
自分の住む街を紹介できた	オリボラ (n=912)	18.4	25.8	55.8	22.474	<0.001	0.075
	パラボラ (n=160)	5.6	22.5	71.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	15.7	22.9	61.4			

### (3) 性別における特徴

参加動機について性別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは17項目中9項目において、都市ボラでは17項目中10項目において有意な差が認められた(表11, 12)。

大会ボラでは「コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから」「自分の視野を広げたかったから」「一流の選手に会いたかったから」という三つの項目において、

都市ボラでは「自分の視野を広げたかったから」「コロナ禍で頑張っている選手を応援したかったから」という二つの項目において特に、男性よりも女性の「あてはまる」への回答が多かった。

表11 大会ボラの参加動機（性別）

項目	性別	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になりたかったから	男性 (n = 2,671)	94.9	3.8	1.2	0.978	0.613	-
	女性 (n = 2,928)	94.5	3.9	1.5			
東京2020大会に関わりたかったから	男性 (n = 2,671)	98.1	1.1	0.8	15.688	<0.001	0.053
	女性 (n = 2,928)	99.3	0.4	0.3			
一流の選手に会いたかったから	男性 (n = 2,671)	42.2	29.2	28.5	74.185	<0.001	0.115
	女性 (n = 2,928)	53.7	23.9	22.4			
コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから	男性 (n = 2,671)	54.0	25.0	21.0	112.853	<0.001	0.142
	女性 (n = 2,928)	67.8	16.7	15.5			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	男性 (n = 2,671)	49.9	30.1	20.1	24.201	<0.001	0.066
	女性 (n = 2,928)	56.4	25.9	17.7			
人の役に立ったと感じたかったから	男性 (n = 2,671)	80.3	13.6	6.1	12.482	<0.05	0.047
	女性 (n = 2,928)	76.6	15.5	7.9			
自分の視野を広げたかったから	男性 (n = 2,671)	86.1	9.9	4.0	82.922	<0.001	0.122
	女性 (n = 2,928)	93.4	4.4	2.2			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	男性 (n = 2,671)	72.5	17.9	9.6	29.985	<0.001	0.073
	女性 (n = 2,928)	78.7	13.4	7.9			
キャリアにつながる経験がしたかったから	男性 (n = 2,671)	40.8	34.5	24.6	1.692	0.429	-
	女性 (n = 2,928)	42.2	32.9	24.9			
語学力をいかしたかったから	男性 (n = 2,671)	41.5	26.0	32.5	26.352	<0.001	0.069
	女性 (n = 2,928)	48.3	22.4	29.3			
語学力以外のスキルや特技をいかしたかったから	男性 (n = 2,671)	39.9	31.6	28.5	1.790	0.409	-
	女性 (n = 2,928)	40.5	30.0	29.4			
興味のあるスポーツに関わりたかったから	男性 (n = 2,671)	58.8	24.0	17.2	8.823	<0.05	0.040
	女性 (n = 2,928)	56.1	23.6	20.3			
人と交流したかったから	男性 (n = 2,671)	82.1	13.0	4.9	5.400	0.067	-
	女性 (n = 2,928)	84.2	11.0	4.8			
新たな友人を作りたいかったから	男性 (n = 2,671)	59.2	28.5	12.2	5.400	0.067	-
	女性 (n = 2,928)	57.9	28.1	14.0			
やりがいのあることをしたかったから	男性 (n = 2,671)	87.7	9.0	3.3	3.796	0.150	-
	女性 (n = 2,928)	91.4	6.4	2.3			
観光案内をしたかったから	男性 (n = 2,671)	20.1	35.3	44.6	5.069	0.079	-
	女性 (n = 2,928)	22.4	33.5	44.0			
自分の住む街を紹介したかったから	男性 (n = 2,671)	18.2	33.6	48.2	5.088	0.079	-
	女性 (n = 2,928)	20.6	32.0	47.4			

表12 都市ボラの参加動機（性別）

項目	性別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になり なかったから	男性 (n = 992)	94.1	3.9	2.0	1.949	0.377	-
	女性 (n = 1,009)	95.4	3.0	1.6			
東京2020大会に関わりなかった から	男性 (n = 992)	97.2	1.5	1.3	11.492	<0.05	0.076
	女性 (n = 1,009)	99.1	0.7	0.2			
一流の選手に会いたかったから	男性 (n = 992)	33.6	30.7	35.7	16.377	<0.001	0.090
	女性 (n = 1,009)	42.3	27.3	30.4			
コロナ禍でがんばっている選手 を応援したかったから	男性 (n = 992)	53.4	25.7	20.9	35.144	<0.001	0.133
	女性 (n = 1,009)	66.4	18.2	15.4			
障害のある人へのサポート方法 やコミュニケーションスキルを 身につけたかったから	男性 (n = 992)	53.6	27.9	18.4	10.890	<0.05	0.074
	女性 (n = 1,009)	60.7	22.5	16.8			
人の役に立っただと感じたから	男性 (n = 992)	80.3	13.6	6.1	12.482	<0.05	0.047
	女性 (n = 1,009)	76.6	15.5	7.9			
自分の視野を広げたかったから	男性 (n = 992)	85.7	10.4	3.9	37.406	<0.001	0.137
	女性 (n = 1,009)	93.8	3.9	2.4			
自分の日常生活に変化をもたら したかったから	男性 (n = 992)	72.7	17.5	9.8	3.477	0.176	-
	女性 (n = 1,009)	76.1	16.0	7.9			
キャリアにつながる経験がした かったから	男性 (n = 992)	40.2	34.8	25.0	1.692	0.565	-
	女性 (n = 1,009)	40.7	32.7	26.6			
語学力をいかしたかったから	男性 (n = 992)	46.0	24.2	29.8	7.212	<0.05	0.060
	女性 (n = 1,009)	51.8	20.7	27.5			
語学力以外のスキルや特技をい かしたかったから	男性 (n = 992)	38.0	32.0	30.0	0.002	0.999	-
	女性 (n = 1,009)	38.0	31.9	30.1			
興味のあるスポーツに関わりた かったから	男性 (n = 992)	53.0	27.6	19.4	5.971	0.051	-
	女性 (n = 1,009)	49.4	26.9	23.8			
人と交流したかったから	男性 (n = 992)	83.2	11.9	4.9	1.454	0.483	-
	女性 (n = 1,009)	85.1	10.5	4.4			
新たな友人を作りたいかったから	男性 (n = 992)	59.4	27.7	12.9	2.584	0.275	-
	女性 (n = 1,009)	55.9	29.6	14.5			
やりがいのあることをしたかっ たから	男性 (n = 992)	86.3	9.6	4.1	18.893	<0.001	0.097
	女性 (n = 1,009)	92.2	5.9	1.9			
観光案内をしたかったから	男性 (n = 992)	41.2	33.6	25.2	8.977	<0.05	0.067
	女性 (n = 1,009)	47.9	30.1	22.0			
自分の住む街を紹介したかった から	男性 (n = 992)	36.2	34.6	29.2	8.725	<0.05	0.066
	女性 (n = 1,009)	42.4	29.9	27.7			

また、活動から得られたものについて性別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは17項目中11項目において、都市ボラでは17項目中12項目において有意な差が認められた（表13, 14）。

大会ボラでは「コロナ禍でがんばっている選手を応援できた」「一流の選手に会えた」

「新たな友人を作ることができた」という三つの項目において、都市ボラでは「コロナ禍でがんばっている選手を応援できた」「新たな友人を作ることができた」という二つの項目において、男性よりも女性の「あてはまる」への回答が多かった。

表13 大会ボラの活動から得られたこと (性別)

項目	性別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助にな ることができた	男性 (n = 2,671)	85.9	11.0	3.1	14.861	<0.05	0.052
	女性 (n = 2,928)	82.8	12.4	4.8			
東京2020大会に関わることが できた	男性 (n = 2,671)	94.9	3.2	1.9	6.635	<0.05	0.034
	女性 (n = 2,928)	96.3	2.3	1.4			
一流の選手に会えた	男性 (n = 2,671)	44.6	20.0	35.4	94.346	<0.001	0.130
	女性 (n = 2,928)	57.5	14.5	27.9			
コロナ禍でがんばっている選手 を応援できた	男性 (n = 2,671)	60.6	20.6	18.8	150.817	<0.001	0.164
	女性 (n = 2,928)	75.7	13.8	10.6			
障害のある人へのサポート方法 やコミュニケーションスキルが 身についた	男性 (n = 2,671)	41.7	29.7	28.6	4.502	0.105	-
	女性 (n = 2,928)	44.0	27.4	28.6			
人の役に立ったと感じられた	男性 (n = 2,671)	77.8	15.6	6.6	15.403	<0.05	0.052
	女性 (n = 2,928)	73.3	19.2	7.4			
自分の視野を広げることが できた	男性 (n = 2,671)	84.6	10.8	4.6	31.303	<0.001	0.075
	女性 (n = 2,928)	89.5	7.8	2.7			
自分の日常生活に変化をもた らすことができた	男性 (n = 2,671)	79.3	13.4	7.4	57.456	<0.001	0.101
	女性 (n = 2,928)	86.1	10.5	3.5			
キャリアにつながる経験が できた	男性 (n = 2,671)	44.4	32.2	23.4	1.739	0.419	-
	女性 (n = 2,928)	42.7	32.8	24.5			
語学力をいやすことが できた	男性 (n = 2,671)	36.5	26.5	37.0	15.558	<0.001	0.053
	女性 (n = 2,928)	40.7	22.5	36.8			
語学力以外のスキルや特技を いやすことができた	男性 (n = 2,671)	37.4	30.7	31.9	1.287	0.525	-
	女性 (n = 2,928)	37.1	29.7	33.2			
興味のあるスポーツに関わ ることができた	男性 (n = 2,671)	47.4	23.8	28.8	5.395	0.067	-
	女性 (n = 2,928)	45.0	23.5	31.5			
人と交流することが できた	男性 (n = 2,671)	84.1	9.8	6.1	64.789	<0.001	0.108
	女性 (n = 2,928)	91.1	5.1	3.8			
新たな友人を作ることが できた	男性 (n = 2,671)	55.6	24.4	20.0	74.173	<0.001	0.115
	女性 (n = 2,928)	66.8	18.0	15.2			
やりがいのあることが できた	男性 (n = 2,671)	80.0	12.8	7.2	0.274	0.872	-
	女性 (n = 2,928)	79.7	12.7	7.5			
観光案内が できた	男性 (n = 2,671)	12.3	27.3	60.4	26.545	<0.001	0.069
	女性 (n = 2,928)	11.6	21.8	66.6			
自分の住む街を紹介 できた	男性 (n = 2,671)	10.9	25.2	63.9	15.791	<0.001	0.053
	女性 (n = 2,928)	10.3	21.0	68.6			



表14 都市ボラの活動から得られたこと (性別)

項目	性別	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助になることができた	男性 (n = 992)	78.4	15.1	6.5	0.670	0.715	-
	女性 (n = 1,009)	76.9	16.3	6.8			
東京2020大会に関わることができた	男性 (n = 992)	89.7	6.9	3.4	6.555	<0.05	0.057
	女性 (n = 1,009)	92.8	4.4	2.9			
一流の選手に会えた	男性 (n = 992)	33.7	19.9	46.5	19.224	<0.001	0.098
	女性 (n = 1,009)	42.0	14.3	43.7			
コロナ禍でがんばっている選手を応援できた	男性 (n = 992)	52.5	21.9	25.6	28.488	<0.001	0.119
	女性 (n = 1,009)	64.1	17.6	18.2			
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルが身についた	男性 (n = 992)	41.9	30.1	27.9	12.219	<0.05	0.078
	女性 (n = 1,009)	48.5	23.8	27.8			
人の役に立ったと感じられた	男性 (n = 992)	69.7	18.2	12.1	4.276	0.118	-
	女性 (n = 1,009)	67.0	21.9	11.1			
自分の視野を広げることができた	男性 (n = 992)	80.1	14.4	5.4	6.278	<0.05	0.056
	女性 (n = 1,009)	84.3	11.0	4.7			
自分の日常生活に変化をもたらすことができた	男性 (n = 992)	74.4	16.4	9.2	15.420	<0.001	0.088
	女性 (n = 1,009)	81.6	12.4	6.0			
キャリアにつながる経験ができた	男性 (n = 992)	40.0	34.3	25.7	1.499	0.473	-
	女性 (n = 1,009)	38.2	33.8	28.0			
語学力をいかすことができた	男性 (n = 992)	29.5	27.1	43.3	16.852	<0.001	0.092
	女性 (n = 1,009)	36.4	20.3	43.3			
語学力以外のスキルや特技をいかすことができた	男性 (n = 992)	30.7	30.1	39.1	2.254	0.324	-
	女性 (n = 1,009)	33.7	27.9	38.4			
興味のあるスポーツに関わることができた	男性 (n = 992)	40.5	27.1	32.4	13.440	<0.05	0.082
	女性 (n = 1,009)	37.3	22.7	40.0			
人と交流することができた	男性 (n = 992)	81.3	11.7	7.1	12.791	<0.05	0.080
	女性 (n = 1,009)	86.3	7.1	6.5			
新たな友人を作ることができた	男性 (n = 992)	47.8	28.7	23.5	25.282	<0.001	0.112
	女性 (n = 1,009)	58.0	20.2	21.8			
やりがいのあることができた	男性 (n = 992)	72.3	16.8	10.9	1.038	0.595	-
	女性 (n = 1,009)	72.6	15.5	11.9			
観光案内ができた	男性 (n = 992)	19.4	29.4	51.2	18.547	<0.001	0.096
	女性 (n = 1,009)	19.0	21.5	59.5			
自分の住む街を紹介できた	男性 (n = 992)	16.8	28.3	54.8	20.958	<0.001	0.102
	女性 (n = 1,009)	15.6	20.3	64.1			

#### (4) 年代における特徴

参加動機について年代別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは17項目中15項目において、都市ボラでは17項目中8項目において有意な差が認められた(表15, 16)。

大会ボラ、都市ボラともに10代から50代の「キャリアにつながる経験がしたかったから」「一流の選手に会いたかったから」の二つの項目において、他の年代よりも「あてはまる」への回答が多かった。

また、活動から得られたものについて年代別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは17項目中16項目において、都市ボラでは17項目中12項目において有意な差が認められた（表17, 18）。

大会ボラでは、10代から50代の「一流の選手に会えた」、10代から40代の「キャリアにつながる経験ができた」において「あてはまる」への回答が多かった。都市ボラでは、10代から50代の「一流の選手に会えた」、10代から40代の「語学力以外のスキルや特技を生かすことができた」、10・20代と50代の「新たな友人を作ることができた」において、他の年代よりも「あてはまる」への回答が多かった。

表15 大会ボラの参加動機（年代別）

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助 になりたかったから	10代, 20代 (n = 141)	89.4	7.8	2.8	21.012	p < 0.05	0.043
	30代 (n = 242)	92.1	4.1	3.7			
	40代 (n = 781)	94.4	4.4	1.3			
	50代 (n = 1,970)	94.9	3.5	1.6			
	60代 (n = 1,932)	95.2	3.8	1.0			
70代以上 (n = 577)	94.6	4.2	1.2				
東京2020大会に関わりた かったから	10代, 20代 (n = 141)	100.0	0.0	0.0	9.821	0.456	-
	30代 (n = 242)	97.5	1.2	1.2			
	40代 (n = 781)	99.0	0.8	0.3			
	50代 (n = 1,970)	98.9	0.7	0.4			
	60代 (n = 1,932)	98.6	0.8	0.6			
70代以上 (n = 577)	97.9	1.2	0.9				
一流の選手に会いたかった から	10代, 20代 (n = 141)	66.7	10.6	22.7	152.377	< 0.001	0.116
	30代 (n = 242)	56.6	19.0	24.4			
	40代 (n = 781)	59.5	20.0	20.5			
	50代 (n = 1,970)	50.5	26.0	23.5			
	60代 (n = 1,932)	43.3	30.2	26.4			
70代以上 (n = 577)	33.6	30.7	35.7				
コロナ禍でがんばっている 選手を応援したかったから	10代, 20代 (n = 141)	59.6	18.4	22.0	42.422	< 0.001	0.061
	30代 (n = 242)	56.6	15.3	28.1			
	40代 (n = 781)	60.1	18.3	21.6			
	50代 (n = 1,970)	63.3	19.5	17.2			
	60代 (n = 1,932)	61.4	22.0	16.6			
70代以上 (n = 577)	56.7	25.3	18.0				

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたかったから	10代, 20代 (n = 141)	64.5	17.0	18.4	21.473	<0.05	0.044
	30代 (n = 242)	53.7	22.3	24.0			
	40代 (n = 781)	51.2	27.9	20.9			
	50代 (n = 1,970)	54.0	27.8	18.2			
	60代 (n = 1,932)	52.7	29.5	17.8			
	70代以上 (n = 577)	52.9	27.6	19.6			
人の役に立ったと感じたかったから	10代, 20代 (n = 141)	78.7	9.2	12.1	26.942	<0.05	0.049
	30代 (n = 242)	75.6	12.4	12.0			
	40代 (n = 781)	76.3	15.0	8.7			
	50代 (n = 1,970)	77.7	15.6	6.7			
	60代 (n = 1,932)	79.2	14.7	6.1			
	70代以上 (n = 577)	80.8	13.0	6.2			
自分の視野を広げたかったから	10代, 20代 (n = 141)	95.0	2.8	2.1	79.507	<0.001	0.084
	30代 (n = 242)	95.0	2.9	2.1			
	40代 (n = 781)	93.9	3.2	2.9			
	50代 (n = 1,970)	91.5	5.9	2.6			
	60代 (n = 1,932)	88.0	8.7	3.2			
	70代以上 (n = 577)	82.5	12.7	4.9			
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	10代, 20代 (n = 141)	94.3	1.4	4.3	111.484	<0.001	0.099
	30代 (n = 242)	83.1	9.5	7.4			
	40代 (n = 781)	81.4	9.7	8.8			
	50代 (n = 1,970)	76.7	14.8	8.5			
	60代 (n = 1,932)	73.4	17.7	8.9			
	70代以上 (n = 577)	63.8	24.8	11.4			
キャリアにつながる経験がしたかったから	10代, 20代 (n = 141)	79.4	13.5	7.1	223.747	<0.001	0.141
	30代 (n = 242)	58.7	23.6	17.8			
	40代 (n = 781)	50.2	29.1	20.7			
	50代 (n = 1,970)	44.1	32.8	23.1			
	60代 (n = 1,932)	33.6	38.1	28.3			
	70代以上 (n = 577)	31.0	36.4	32.6			
語学力をいかしたかったから	10代, 20代 (n = 141)	58.9	15.6	25.5	31.547	<0.001	0.053
	30代 (n = 242)	50.4	20.2	29.3			
	40代 (n = 781)	44.4	22.9	32.7			
	50代 (n = 1,970)	43.0	24.3	32.7			
	60代 (n = 1,932)	44.1	25.5	30.4			
	70代以上 (n = 577)	50.6	23.9	25.5			
語学力以外のスキルや特技をいかしたかったから	10代, 20代 (n = 141)	58.2	16.3	25.5	50.718	<0.001	0.067
	30代 (n = 242)	52.9	21.1	26.0			
	40代 (n = 781)	41.4	29.6	29.1			
	50代 (n = 1,970)	40.5	30.2	29.4			
	60代 (n = 1,932)	37.9	33.3	28.8			
	70代以上 (n = 577)	36.4	33.8	29.8			

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
興味のあるスポーツに関わりたかったから	10代, 20代 (n = 141)	63.1	10.6	26.2	33.214	<0.001	0.054
	30代 (n = 242)	60.7	18.6	20.7			
	40代 (n = 781)	59.8	21.1	19.1			
	50代 (n = 1,970)	58.6	23.6	17.9			
	60代 (n = 1,932)	55.5	25.3	19.2			
	70代以上 (n = 577)	53.4	28.2	18.4			
人と交流しなかったから	10代, 20代 (n = 141)	89.4	4.3	6.4	19.831	<0.05	0.042
	30代 (n = 242)	83.5	10.7	5.8			
	40代 (n = 781)	83.4	11.3	5.4			
	50代 (n = 1,970)	81.7	12.5	5.7			
	60代 (n = 1,932)	83.5	12.7	3.8			
	70代以上 (n = 577)	84.2	10.9	4.9			
新たな友人を作らなかったから	10代, 20代 (n = 141)	76.6	7.8	15.6	79.248	<0.001	0.084
	30代 (n = 242)	65.7	17.4	16.9			
	40代 (n = 781)	60.7	26.0	13.3			
	50代 (n = 1,970)	58.8	26.4	14.8			
	60代 (n = 1,932)	55.6	33.0	11.4			
	70代以上 (n = 577)	55.5	32.2	12.3			
やりがいのあることをしなかったから	10代, 20代 (n = 141)	92.9	5.0	2.1	10.607	0.389	-
	30代 (n = 242)	91.3	4.5	4.1			
	40代 (n = 781)	90.1	7.4	2.4			
	50代 (n = 1,970)	89.4	7.9	2.7			
	60代 (n = 1,932)	89.5	8.0	2.5			
	70代以上 (n = 577)	87.7	8.5	3.8			
観光案内をしたかったから	10代, 20代 (n = 141)	34.8	20.6	44.7	43.184	<0.001	0.062
	30代 (n = 242)	26.4	26.4	47.1			
	40代 (n = 781)	20.6	31.4	48.0			
	50代 (n = 1,970)	20.0	35.4	44.6			
	60代 (n = 1,932)	20.9	35.0	44.2			
	70代以上 (n = 577)	22.7	38.8	38.5			
自分の住む街を紹介しなかったから	10代, 20代 (n = 141)	24.8	20.6	54.6	21.595	<0.05	0.044
	30代 (n = 242)	23.6	25.6	50.8			
	40代 (n = 781)	19.3	31.6	49.0			
	50代 (n = 1,970)	19.0	33.5	47.5			
	60代 (n = 1,932)	18.6	33.3	48.1			
	70代以上 (n = 577)	20.5	35.5	44.0			

表16 都市ボラの参加動機 (年代別)

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはま らない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助 になりたかったから	10代, 20代 (n = 27)	96.3	3.7	0.0	12.878	0.231	-
	30代 (n = 65)	93.8	3.1	3.1			
	40代 (n = 206)	92.7	3.9	3.4			
	50代 (n = 616)	95.9	2.8	1.3			
	60代 (n = 711)	95.2	3.0	1.8			
	70代以上 (n = 394)	92.4	5.8	1.8			
東京2020大会に関わりた かったから	10代, 20代 (n = 141)	100.0	0.0	0.0	9.418	0.493	-
	30代 (n = 242)	96.9	1.5	1.5			
	40代 (n = 781)	99.0	1.0	0.0			
	50代 (n = 1,970)	98.7	0.6	0.6			
	60代 (n = 1,932)	98.2	1.0	0.8			
	70代以上 (n = 577)	96.7	2.3	1.0			
一流の選手に会いたかった から	10代, 20代 (n = 27)	59.3	7.4	33.3	63.311	<0.001	0.125
	30代 (n = 65)	46.2	23.1	30.8			
	40代 (n = 206)	55.3	19.4	25.2			
	50代 (n = 616)	41.2	27.8	31.0			
	60代 (n = 711)	34.2	32.9	32.9			
	70代以上 (n = 394)	28.2	31.0	40.9			
コロナ禍でがんばっている 選手を応援したかったから	10代, 20代 (n = 27)	51.9	14.8	33.3	25.253	<0.05	0.079
	30代 (n = 65)	56.9	13.8	29.2			
	40代 (n = 206)	63.1	15.5	21.4			
	50代 (n = 616)	62.8	20.5	16.7			
	60代 (n = 711)	60.2	23.5	16.3			
	70代以上 (n = 394)	54.8	25.9	19.3			
障害のある人へのサポート 方法やコミュニケーション スキルを身につけたかった から	10代, 20代 (n = 27)	63.0	18.5	18.5	14.232	0.163	-
	30代 (n = 65)	56.9	15.4	27.7			
	40代 (n = 206)	63.1	20.9	16.0			
	50代 (n = 616)	56.3	25.8	17.9			
	60代 (n = 711)	57.0	27.4	15.6			
	70代以上 (n = 394)	56.1	24.4	19.5			
人の役に立ったと感じた かったから	10代, 20代 (n = 27)	81.5	7.4	11.1	15.549	0.113	-
	30代 (n = 65)	73.8	9.2	16.9			
	40代 (n = 206)	79.6	13.1	7.3			
	50代 (n = 616)	80.8	13.8	5.4			
	60代 (n = 711)	80.0	13.4	6.6			
	70代以上 (n = 394)	81.5	12.7	5.8			
自分の視野を広げたかった から	10代, 20代 (n = 27)	88.9	7.4	3.7	24.775	<0.05	0.078
	30代 (n = 65)	90.8	4.6	4.6			
	40代 (n = 206)	95.1	2.4	2.4			
	50代 (n = 616)	91.9	5.4	2.8			
	60代 (n = 711)	89.2	8.0	2.8			
	70代以上 (n = 394)	84.5	11.2	4.3			

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
自分の日常生活に変化をもたらしたかったから	10代, 20代 (n = 27)	96.3	0.0	3.7	36.767	<0.001	0.095
	30代 (n = 65)	80.0	12.3	7.7			
	40代 (n = 206)	84.0	9.7	6.3			
	50代 (n = 616)	77.8	14.1	8.1			
	60代 (n = 711)	71.3	19.1	9.6			
	70代以上 (n = 394)	67.3	22.1	10.7			
キャリアにつながる経験がしたかったから	10代, 20代 (n = 27)	85.2	7.4	7.4	84.384	<0.001	0.145
	30代 (n = 65)	58.5	26.2	15.4			
	40代 (n = 206)	55.8	24.3	19.9			
	50代 (n = 616)	45.1	31.7	23.2			
	60代 (n = 711)	32.8	38.1	29.1			
	70代以上 (n = 394)	33.0	36.8	30.2			
語学力をいかしたかったから	10代, 20代 (n = 27)	63.0	7.4	29.6	10.888	0.366	-
	30代 (n = 65)	47.7	21.5	30.8			
	40代 (n = 206)	49.0	20.9	30.1			
	50代 (n = 616)	48.2	20.9	30.8			
	60代 (n = 711)	48.0	23.9	28.1			
	70代以上 (n = 394)	52.0	23.9	24.1			
語学力以外のスキルや特技をいかしたかったから	10代, 20代 (n = 27)	59.3	14.8	25.9	28.828	<0.05	0.084
	30代 (n = 65)	52.3	23.1	24.6			
	40代 (n = 206)	42.7	29.1	28.2			
	50代 (n = 616)	39.9	27.8	32.3			
	60代 (n = 711)	35.9	35.9	28.3			
	70代以上 (n = 394)	32.5	35.5	32.0			
興味のあるスポーツに関わりたかったから	10代, 20代 (n = 27)	51.9	14.8	33.3	26.924	<0.05	0.082
	30代 (n = 65)	56.9	20.0	23.1			
	40代 (n = 206)	58.3	18.4	23.3			
	50代 (n = 616)	55.2	26.0	18.8			
	60代 (n = 711)	48.7	30.1	21.2			
	70代以上 (n = 394)	44.9	30.2	24.9			
人と交流したかったから	10代, 20代 (n = 27)	77.8	11.1	11.1	9.070	0.525	-
	30代 (n = 65)	81.5	10.8	7.7			
	40代 (n = 206)	85.0	10.7	4.4			
	50代 (n = 616)	82.8	11.7	5.5			
	60代 (n = 711)	84.0	12.1	3.9			
	70代以上 (n = 394)	87.1	8.9	4.1			
新たな友人を作りたいから	10代, 20代 (n = 27)	66.7	7.4	25.9	22.082	<0.05	0.074
	30代 (n = 65)	64.6	15.4	20.0			
	40代 (n = 206)	62.1	26.2	11.7			
	50代 (n = 616)	57.3	27.3	15.4			
	60代 (n = 711)	56.0	31.6	12.4			
	70代以上 (n = 394)	55.6	31.2	13.2			

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
やりがいのあることをした かったから	10代, 20代 (n = 27)	96.3	0.0	3.7	13.137	0.216	-
	30代 (n = 65)	95.4	0.0	4.6			
	40代 (n = 206)	90.3	6.8	2.9			
	50代 (n = 616)	90.1	6.8	3.1			
	60代 (n = 711)	88.7	8.6	2.7			
	70代以上 (n = 394)	86.5	9.9	3.6			
観光案内をしたかったから	10代, 20代 (n = 27)	63.0	11.1	25.9	14.619	0.147	-
	30代 (n = 65)	44.6	27.7	27.7			
	40代 (n = 206)	48.5	25.7	25.7			
	50代 (n = 616)	44.5	30.7	24.8			
	60代 (n = 711)	42.6	35.0	22.4			
	70代以上 (n = 394)	45.7	32.2	22.1			
自分の住む街を紹介した かったから	10代, 20代 (n = 27)	48.1	18.5	33.3	8.074	0.622	-
	30代 (n = 65)	43.1	27.7	29.2			
	40代 (n = 206)	44.7	29.6	25.7			
	50代 (n = 616)	38.5	32.6	28.9			
	60代 (n = 711)	36.8	33.9	29.3			
	70代以上 (n = 394)	41.1	31.5	27.4			

表17 大会ボラの活動から得られたこと (年代別)

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助 になることができた	10代, 20代 (n = 141)	88.7	7.8	3.5	22.626	<0.05	0.045
	30代 (n = 242)	86.8	7.4	5.8			
	40代 (n = 781)	85.0	10.9	4.1			
	50代 (n = 1,970)	83.8	11.3	4.9			
	60代 (n = 1,932)	83.5	13.5	3.1			
	70代以上 (n = 577)	84.6	11.8	3.6			
東京2020大会に関わるこ とができる	10代, 20代 (n = 141)	96.5	2.1	1.4	12.583	0.248	-
	30代 (n = 242)	95.5	2.1	2.5			
	40代 (n = 781)	97.1	1.9	1.0			
	50代 (n = 1,970)	95.3	2.7	2.0			
	60代 (n = 1,932)	95.8	3.0	1.2			
	70代以上 (n = 577)	94.1	3.5	2.4			
一流の選手に会えた	10代, 20代 (n = 141)	78.0	5.7	16.3	190.832	<0.001	0.130
	30代 (n = 242)	66.9	12.0	21.1			
	40代 (n = 781)	60.7	13.3	26.0			
	50代 (n = 1,970)	55.1	14.5	30.4			
	60代 (n = 1,932)	43.9	20.9	35.2			
	70代以上 (n = 577)	38.3	23.2	38.5			
コロナ禍でがんばっている 選手を応援できた	10代, 20代 (n = 141)	82.3	9.9	7.8	100.714	<0.001	0.094
	30代 (n = 242)	77.3	9.9	12.8			
	40代 (n = 781)	72.9	14.6	12.5			
	50代 (n = 1,970)	72.1	14.3	13.6			
	60代 (n = 1,932)	64.5	20.0	15.5			
	70代以上 (n = 577)	56.2	24.6	19.2			

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
障害のある人へのサポート 方法やコミュニケーション スキルが身についた	10代, 20代 (n = 141)	53.9	22.0	24.1	51.215	<0.001	0.067
	30代 (n = 242)	55.0	21.5	23.6			
	40代 (n = 781)	44.7	24.2	31.1			
	50代 (n = 1,970)	43.4	26.7	29.9			
	60代 (n = 1,932)	40.3	31.8	28.0			
	70代以上 (n = 577)	40.2	33.8	26.0			
人の役に立ったと感じられた	10代, 20代 (n = 141)	87.9	7.8	4.3	25.011	<0.05	0.047
	30代 (n = 242)	80.2	13.2	6.6			
	40代 (n = 781)	73.8	17.9	8.3			
	50代 (n = 1,970)	74.4	18.2	7.4			
	60代 (n = 1,932)	75.4	18.4	6.2			
	70代以上 (n = 577)	75.9	15.4	8.7			
自分の視野を広げることが できた	10代, 20代 (n = 141)	95.0	2.8	2.1	79.507	<0.001	0.084
	30代 (n = 242)	95.0	2.9	2.1			
	40代 (n = 781)	93.9	3.2	2.9			
	50代 (n = 1,970)	91.5	5.9	2.6			
	60代 (n = 1,932)	88.0	8.7	3.2			
	70代以上 (n = 577)	82.5	12.7	4.9			
自分の日常生活に変化をも たらすことができた	10代, 20代 (n = 141)	92.9	5.0	2.1	43.045	<0.001	0.062
	30代 (n = 242)	86.8	8.3	5.0			
	40代 (n = 781)	85.7	9.6	4.7			
	50代 (n = 1,970)	83.7	11.0	5.4			
	60代 (n = 1,932)	81.5	13.4	5.1			
	70代以上 (n = 577)	76.1	15.8	8.1			
キャリアにつながる経験が できた	10代, 20代 (n = 141)	81.6	11.3	7.1	164.303	<0.001	0.121
	30代 (n = 242)	55.8	22.3	21.9			
	40代 (n = 781)	50.2	27.7	22.2			
	50代 (n = 1,970)	44.7	31.9	23.4			
	60代 (n = 1,932)	38.4	35.7	25.9			
	70代以上 (n = 577)	32.6	39.2	28.2			
語学力をいやすことが できた	10代, 20代 (n = 141)	56.7	15.6	27.7	53.778	<0.001	0.069
	30代 (n = 242)	47.9	19.0	33.1			
	40代 (n = 781)	42.5	21.5	36.0			
	50代 (n = 1,970)	36.6	24.0	39.4			
	60代 (n = 1,932)	35.8	27.3	36.9			
	70代以上 (n = 577)	41.6	24.4	34.0			
語学力以外のスキルや特技 をいやすことができた	10代, 20代 (n = 141)	61.0	19.9	19.1	84.176	<0.001	0.086
	30代 (n = 242)	49.6	22.3	28.1			
	40代 (n = 781)	42.1	25.0	32.9			
	50代 (n = 1,970)	37.0	29.6	33.4			
	60代 (n = 1,932)	33.3	33.4	33.3			
	70代以上 (n = 577)	33.3	34.3	32.4			



東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
 —大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
興味のあるスポーツに関わることができた	10代, 20代 (n = 141)	61.7	15.6	22.7	72.910	<0.001	0.080
	30代 (n = 242)	59.1	14.5	26.4			
	40代 (n = 781)	51.9	19.2	28.9			
	50代 (n = 1,970)	46.4	22.3	31.3			
	60代 (n = 1,932)	42.2	27.2	30.6			
	70代以上 (n = 577)	40.6	27.9	31.5			
人と交流することができた	10代, 20代 (n = 141)	97.2	1.4	1.4	33.869	<0.001	0.042
	30代 (n = 242)	88.4	6.2	5.4			
	40代 (n = 781)	89.8	5.6	4.6			
	50代 (n = 1,970)	87.9	6.5	5.5			
	60代 (n = 1,932)	86.8	9.1	4.1			
	70代以上 (n = 577)	84.9	8.7	6.4			
新たな友人を作ることができた	10代, 20代 (n = 141)	87.2	5.7	7.1	117.570	<0.001	0.102
	30代 (n = 242)	66.1	14.9	19.0			
	40代 (n = 781)	62.7	19.1	18.2			
	50代 (n = 1,970)	64.6	17.5	17.9			
	60代 (n = 1,932)	58.2	24.3	17.4			
	70代以上 (n = 577)	50.8	31.7	17.5			
やりがいのあることができた	10代, 20代 (n = 141)	95.0	0.7	4.3	40.351	<0.001	0.060
	30代 (n = 242)	84.7	7.9	7.4			
	40代 (n = 781)	80.9	11.9	7.2			
	50代 (n = 1,970)	79.4	12.7	7.9			
	60代 (n = 1,932)	79.2	13.7	7.1			
	70代以上 (n = 577)	75.0	17.2	7.8			
観光案内ができた	10代, 20代 (n = 141)	29.8	19.1	51.1	112.364	<0.001	0.100
	30代 (n = 242)	22.3	18.6	59.1			
	40代 (n = 781)	14.2	19.3	66.5			
	50代 (n = 1,970)	11.3	22.9	65.8			
	60代 (n = 1,932)	9.6	26.9	63.5			
	70代以上 (n = 577)	10.1	30.7	59.3			
自分の住む街を紹介できた	10代, 20代 (n = 141)	25.5	17.0	57.4	92.109	<0.001	0.090
	30代 (n = 242)	19.8	17.8	62.4			
	40代 (n = 781)	12.4	19.6	68.0			
	50代 (n = 1,970)	10.4	21.8	67.9			
	60代 (n = 1,932)	7.9	24.7	67.4			
	70代以上 (n = 577)	10.2	28.8	61.0			

表18 都市ボラの活動から得られたこと（年代別）

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
東京2020大会の成功の一助 になることができた	10代, 20代 (n = 27)	85.2	7.4	7.4	16.607	0.084	-
	30代 (n = 65)	72.3	16.9	10.8			
	40代 (n = 206)	78.6	11.2	10.2			
	50代 (n = 616)	78.1	14.3	7.6			
	60代 (n = 711)	77.6	17.4	4.9			
	70代以上 (n = 394)	76.1	17.3	6.6			
東京2020大会に関わることが できた	10代, 20代 (n = 27)	96.3	0.0	3.7	17.722	0.060	-
	30代 (n = 65)	87.7	4.6	7.7			
	40代 (n = 206)	94.2	3.4	2.4			
	50代 (n = 616)	92.2	4.1	3.7			
	60代 (n = 711)	90.9	6.6	2.5			
	70代以上 (n = 394)	88.6	7.9	3.6			
一流の選手に会えた	10代, 20代 (n = 27)	59.3	3.7	37.0	81.773	<0.001	0.142
	30代 (n = 65)	50.8	9.2	40.0			
	40代 (n = 206)	51.9	11.2	36.9			
	50代 (n = 616)	44.3	12.2	43.5			
	60代 (n = 711)	33.9	20.8	45.3			
	70代以上 (n = 394)	25.4	22.3	52.3			
コロナ禍でがんばっている 選手を応援できた	10代, 20代 (n = 27)	77.8	7.4	14.8	47.244	<0.001	0.108
	30代 (n = 65)	64.6	13.8	21.5			
	40代 (n = 206)	66.5	15.5	18.0			
	50代 (n = 616)	62.5	17.7	19.8			
	60代 (n = 711)	57.8	22.2	20.0			
	70代以上 (n = 394)	46.4	21.8	31.7			
障害のある人へのサポート 方法やコミュニケーション スキルが身についた	10代, 20代 (n = 27)	59.3	11.1	29.6	12.491	0.254	-
	30代 (n = 65)	47.7	23.1	29.2			
	40代 (n = 206)	48.5	21.8	29.6			
	50代 (n = 616)	45.0	26.0	29.1			
	60代 (n = 711)	46.4	28.1	25.5			
	70代以上 (n = 394)	41.1	29.9	28.9			
人の役に立ったと感じられた	10代, 20代 (n = 27)	81.5	14.8	3.7	5.128	0.882	-
	30代 (n = 65)	64.6	20.0	15.4			
	40代 (n = 206)	68.9	20.4	10.7			
	50代 (n = 616)	66.9	20.5	12.7			
	60代 (n = 711)	69.3	19.8	10.8			
	70代以上 (n = 394)	67.8	19.8	12.4			
自分の視野を広げることが できた	10代, 20代 (n = 27)	92.6	3.7	3.7	15.117	0.128	-
	30代 (n = 65)	87.7	7.7	4.6			
	40代 (n = 206)	85.4	8.7	5.8			
	50代 (n = 616)	82.1	11.4	6.5			
	60代 (n = 711)	81.3	14.8	3.9			
	70代以上 (n = 394)	80.7	14.2	5.1			

東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その2  
—大会・都市ボランティアの特徴から—

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
自分の日常生活に変化をもたらすことができた	10代, 20代 (n = 27)	88.9	3.7	7.4	36.354	<0.001	0.095
	30代 (n = 65)	83.1	9.2	7.7			
	40代 (n = 206)	87.9	6.3	5.8			
	50代 (n = 616)	79.9	11.5	8.6			
	60代 (n = 711)	76.1	17.2	6.8			
	70代以上 (n = 394)	71.6	19.5	8.9			
キャリアにつながる経験ができた	10代, 20代 (n = 27)	74.1	18.5	7.4	35.106	<0.001	0.093
	30代 (n = 65)	50.8	21.5	27.7			
	40代 (n = 206)	47.6	26.2	26.2			
	50代 (n = 616)	39.0	34.9	26.1			
	60代 (n = 711)	37.6	35.7	26.7			
	70代以上 (n = 394)	32.7	36.8	30.5			
語学力をいかすことができた	10代, 20代 (n = 27)	56.7	15.6	27.7	22.552	<0.05	0.075
	30代 (n = 65)	47.9	19.0	33.1			
	40代 (n = 206)	42.5	21.5	36.0			
	50代 (n = 616)	36.6	24.0	39.4			
	60代 (n = 711)	35.8	27.3	36.9			
	70代以上 (n = 394)	41.6	24.4	34.0			
語学力以外のスキルや特技をいかすことができた	10代, 20代 (n = 27)	66.7	7.4	25.9	50.216	<0.001	0.112
	30代 (n = 65)	46.2	12.3	41.5			
	40代 (n = 206)	38.8	21.8	39.3			
	50代 (n = 616)	33.3	25.6	41.1			
	60代 (n = 711)	29.7	33.5	36.8			
	70代以上 (n = 394)	26.6	34.3	39.1			
興味のあるスポーツに関わる ことができた	10代, 20代 (n = 27)	70.4	7.4	22.2	40.906	<0.001	0.101
	30代 (n = 65)	46.2	10.8	43.1			
	40代 (n = 206)	45.6	15.0	39.3			
	50代 (n = 616)	39.4	23.9	36.7			
	60代 (n = 711)	36.1	29.8	34.0			
	70代以上 (n = 394)	35.8	25.6	38.6			
人と交流することができた	10代, 20代 (n = 27)	92.6	3.7	3.7	18.764	<0.05	0.068
	30代 (n = 65)	87.7	6.2	6.2			
	40代 (n = 206)	89.3	5.8	4.9			
	50代 (n = 616)	84.3	7.3	8.4			
	60代 (n = 711)	81.7	12.0	6.3			
	70代以上 (n = 394)	82.2	10.7	7.1			
新たな友人を作ることが できた	10代, 20代 (n = 27)	77.8	7.4	14.8	64.810	<0.001	0.127
	30代 (n = 65)	58.5	13.8	27.7			
	40代 (n = 206)	56.3	21.4	22.3			
	50代 (n = 616)	59.9	17.4	22.7			
	60代 (n = 711)	50.4	26.6	23.1			
	70代以上 (n = 394)	41.9	36.3	21.8			

項目	年代	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
やりがいのあることができた	10代, 20代 (n = 27)	92.6	0.0	7.4	25.068	<0.05	0.079
	30代 (n = 65)	75.4	10.8	13.8			
	40代 (n = 206)	77.7	10.7	11.7			
	50代 (n = 616)	72.9	14.3	12.8			
	60代 (n = 711)	71.9	18.0	10.1			
	70代以上 (n = 394)	66.8	21.1	12.2			
観光案内ができた	10代, 20代 (n = 27)	37.0	14.8	48.1	36.913	<0.001	0.096
	30代 (n = 65)	29.2	15.4	55.4			
	40代 (n = 206)	23.8	20.4	55.8			
	50代 (n = 616)	17.5	22.1	60.4			
	60代 (n = 711)	18.3	26.3	55.4			
	70代以上 (n = 394)	17.8	33.5	48.7			
自分の住む街を紹介できた	10代, 20代 (n = 27)	29.6	14.8	55.6	32.206	<0.001	0.089
	30代 (n = 65)	24.6	16.9	58.5			
	40代 (n = 206)	19.9	18.9	61.2			
	50代 (n = 616)	15.3	20.5	64.3			
	60代 (n = 711)	14.8	25.9	59.4			
	70代以上 (n = 394)	15.7	31.5	52.8			

## 4 大会後の考え方や行動で変化したこと

### (1) 考え方や行動の変化

大会後の考え方や行動で変化したこと9項目について、5段階（「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「ややあてはまらない」「あてはまらない」）を3段階（「あてはまる」「どちらともいえない」「あてはまらない」）にリコードし、単純集計を行った（表19）。

大会ボラでは、「あてはまる」が最も多いのは、「多様性について意識するようになった」（81.6%）で、次いで、「今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった」（77.3%）、「パラスポーツを身近に感じるようになった」（72.8%）となっている。また、都市ボラでも同様の順位であり、「多様性について意識するようになった」（81.0%）で、次いで、「今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった」（76.1%）、「パラスポーツを身近に感じるようになった」（71.7%）となっている。

表19 大会後の考え方や行動で変化したこと

項 目	大会ボラ (n = 5,642)			都市ボラ (n = 2,019)		
	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまら ない	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまら ない
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	57.4	30.7	11.9	61.3	26.4	12.3
多様性について意識するようになった	81.6	12.9	5.6	81.0	12.3	6.7
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	53.1	27.5	19.4	52.5	26.8	20.7
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている	27.8	22.2	50.0	30.3	19.8	50.0
パラスポーツを身近に感じるようになった	72.8	15.0	12.2	71.7	15.4	12.9
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	77.3	13.6	9.1	76.1	14.2	9.8
実際にスポーツをするようになった	22.2	33.8	44.1	22.2	32.9	44.9
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	26.3	33.4	40.4	26.9	31.7	41.4
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	48.2	27.9	24.0	47.9	27.8	24.3

## (2) 大会種別における特徴

大会後の考え方や行動で変化したことについて大会種別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは9項目中8項目において、都市ボラでは全ての項目において有意な差が認められた(表20, 21)。

大会ボラ、都市ボラとも、「パラスポーツを身近に感じるようになった」という項目において、オリボラよりもパラボラ、オリ・パラボラの方が「あてはまる」の回答が特に多かった。また、「東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている」という項目において、オリボラ、パラボラよりも、オリ・パラボラの方が「あてはまる」の回答が特に多かった。

結果から、パラリンピックにおけるボランティア活動を通じてパラスポーツがより身近に感じるようになることが把握された。また、オリンピック、パラリンピックと両方のボランティア大会の活動を長期にわたり共にすることで、大会後のボランティア仲間に発展していることが推察される。

表20 大会ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと (大会種別)

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	オリボラ (n = 2,587)	54.1	32.8	13.1	32.547	<0.001	0.054
	パラボラ (n = 748)	55.2	31.7	13.1			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	61.8	28.0	10.2			
多様性について意識するようになった	オリボラ (n = 2,587)	78.4	14.8	6.7	33.194	<0.001	0.054
	パラボラ (n = 748)	82.8	12.6	4.7			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	84.7	10.8	4.5			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	オリボラ (n = 2,587)	51.1	28.0	20.8	24.634	<0.001	0.047
	パラボラ (n = 748)	48.4	30.2	21.4			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	56.7	26.1	17.2			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている	オリボラ (n = 2,587)	22.7	23.2	54.1	168.981	<0.001	0.122
	パラボラ (n = 748)	18.9	19.8	61.4			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	36.4	21.8	41.8			
パラスポーツを身近に感じるようになった	オリボラ (n = 2,587)	56.7	22.4	20.9	641.681	<0.001	0.238
	パラボラ (n = 748)	88.1	7.1	4.8			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	85.8	9.3	4.9			
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	オリボラ (n = 2,587)	70.9	15.9	13.2	131.685	<0.001	0.108
	パラボラ (n = 748)	82.8	12.0	5.2			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	82.7	11.4	5.8			
実際にスポーツをするようになった	オリボラ (n = 2,587)	22.1	33.0	44.9	16.574	<0.05	0.038
	パラボラ (n = 748)	18.1	33.2	48.8			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	23.6	34.8	41.6			
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	オリボラ (n = 2,587)	25.6	33.7	40.6	19.870	<0.05	0.042
	パラボラ (n = 748)	21.5	32.5	46.0			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	28.5	33.2	38.3			
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	オリボラ (n = 2,587)	47.5	28.3	24.2	7.161	0.128	-
	パラボラ (n = 748)	45.2	28.1	26.7			
	オリ・パラボラ (n = 2,308)	49.9	27.3	22.8			

表21 都市ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと (大会種別)

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	オリボラ (n=912)	56.0	30.0	13.9	35.798	<0.001	0.094
	パラボラ (n=160)	51.2	31.9	16.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	68.0	22.0	10.0			
多様性について意識するようになった	オリボラ (n=912)	76.1	14.9	9.0	32.222	<0.001	0.089
	パラボラ (n=160)	80.0	11.3	8.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	85.9	10.0	4.1			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	オリボラ (n=912)	47.5	27.5	25.0	33.729	<0.001	0.091
	パラボラ (n=160)	45.6	29.4	25.0			
	オリ・パラボラ (n=947)	58.5	25.7	15.8			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている	オリボラ (n=912)	23.6	20.1	56.4	57.341	<0.001	0.119
	パラボラ (n=160)	22.5	18.1	59.4			
	オリ・パラボラ (n=947)	38.0	19.7	42.2			
パラスポーツを身近に感じるようになった	オリボラ (n=912)	56.1	23.2	20.6	57.341	<0.001	0.223
	パラボラ (n=160)	84.4	6.9	8.8			
	オリ・パラボラ (n=947)	84.6	9.3	6.1			
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	オリボラ (n=912)	69.3	17.0	13.7	49.200	<0.001	0.110
	パラボラ (n=160)	76.9	16.3	6.9			
	オリ・パラボラ (n=947)	82.5	11.1	6.4			
実際にスポーツをするようになった	オリボラ (n=912)	21.1	32.5	46.5	13.459	<0.05	0.058
	パラボラ (n=160)	14.4	31.3	54.4			
	オリ・パラボラ (n=947)	24.6	33.6	41.8			
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	オリボラ (n=912)	24.8	30.9	44.3	31.147	<0.001	0.088
	パラボラ (n=160)	13.8	33.1	53.1			
	オリ・パラボラ (n=947)	31.2	32.3	36.5			
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	オリボラ (n=912)	47.0	27.9	25.1	10.542	<0.05	0.051
	パラボラ (n=160)	38.8	28.8	32.5			
	オリ・パラボラ (n=947)	50.3	27.6	22.2			

(3) 性別における特徴

大会後の考え方や行動で変化したことについて性別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは9項目中8項目において、都市ボラでは9項目中5項目において有意な差が認められた(表22, 23)。

大会ボラでは「今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった」「語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった」「パラスポーツを身近に感じるようになった」という三つの項目において、都市ボラでは「今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった」という項目において、特に男性よりも女性の「あてはまる」への回答が多かった。ボランティア参加を通じて今まで知らなかった競技(種目)、パラスポーツへの興味関心が男性よりも女性の方が高まっていることが把握された。

表22 大会ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと(性別)

項目	性別	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	男性 (n = 2,671)	56.0	31.8	12.2	4.834	0.089	-
	女性 (n = 2,928)	58.9	29.7	11.4			
多様性について意識するようになった	男性 (n = 2,671)	78.4	14.5	7.1	40.324	<0.001	0.085
	女性 (n = 2,928)	84.5	11.4	4.0			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	男性 (n = 2,671)	45.7	31.0	23.3	114.478	<0.001	0.143
	女性 (n = 2,928)	59.7	24.6	15.7			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている	男性 (n = 2,671)	27.0	25.0	48.0	24.628	<0.001	0.066
	女性 (n = 2,928)	28.8	19.5	51.7			
パラスポーツを身近に感じるようになった	男性 (n = 2,671)	66.8	17.3	15.9	98.950	<0.001	0.133
	女性 (n = 2,928)	78.2	13.0	8.8			
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	男性 (n = 2,671)	68.7	18.2	13.1	221.939	<0.001	0.199
	女性 (n = 2,928)	85.2	9.3	5.4			
実際にスポーツをするようになった	男性 (n = 2,671)	22.2	37.0	40.9	26.920	<0.001	0.069
	女性 (n = 2,928)	22.3	30.8	46.9			
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	男性 (n = 2,671)	27.4	35.9	36.7	27.924	<0.001	0.071
	女性 (n = 2,928)	25.4	31.1	43.5			
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	男性 (n = 2,671)	44.6	30.4	25.0	29.640	<0.001	0.073
	女性 (n = 2,928)	51.7	25.6	22.7			



表23 都市ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと（性別）

項目	性別	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	男性 (n = 992)	61.3	26.3	12.4	0.049	0.976	-
	女性 (n = 1,009)	61.6	26.3	12.1			
多様性について意識するようになった	男性 (n = 992)	79.4	13.3	7.3	3.882	0.144	-
	女性 (n = 1,009)	82.9	11.3	5.8			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	男性 (n = 992)	47.0	29.9	23.1	22.584	<0.001	0.106
	女性 (n = 1,009)	57.6	24.2	18.2			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている	男性 (n = 992)	30.2	22.6	47.2	9.833	<0.05	0.070
	女性 (n = 1,009)	30.4	17.2	52.3			
バラスポーツを身近に感じるようになった	男性 (n = 992)	66.5	18.4	15.0	25.636	<0.001	0.113
	女性 (n = 1,009)	76.7	12.5	10.8			
今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった	男性 (n = 992)	68.6	17.7	13.6	62.194	<0.001	0.176
	女性 (n = 1,009)	83.4	10.5	6.0			
実際にスポーツをするようになった	男性 (n = 992)	23.7	37.3	39.0	30.038	<0.001	0.123
	女性 (n = 1,009)	20.7	28.3	50.9			
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	男性 (n = 992)	29.2	36.9	33.9	46.846	<0.001	0.153
	女性 (n = 1,009)	24.7	26.7	48.7			
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	男性 (n = 992)	46.8	30.0	23.2	4.636	0.098	-
	女性 (n = 1,009)	49.1	25.8	25.2			

#### （４）年代における特徴

大会ボラの大会後の考え方や行動で変化したことについて年代別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラでは9項目中8項目において、都市ボラでは9項目中5項目において有意な差が認められた（表24、25）。

大会ボラでは、10代から50代の「今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった」において「あてはまる」への回答が多かった。都市ボラでは、10代から50代の「スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった」において「あてはまる」への回答が多かった。

表24 大会ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと（年代別）

項目	年代	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	10代, 20代 (n = 141)	55.3	24.8	19.9	37.815	<0.001	0.058
	30代 (n = 242)	47.9	32.6	19.4			
	40代 (n = 781)	56.5	28.7	14.9			
	50代 (n = 1,970)	58.6	30.7	10.7			
	60代 (n = 1,932)	57.7	31.5	10.8			
	70代以上 (n = 577)	58.2	31.2	10.6			

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
多様性について意識するようになった	10代, 20代 (n = 141)	85.2	0.0	14.8	14.682	0.144	-
	30代 (n = 242)	76.9	10.8	12.3			
	40代 (n = 781)	78.2	14.1	7.8			
	50代 (n = 1,970)	80.0	12.5	7.5			
	60代 (n = 1,932)	83.0	11.5	5.5			
	70代以上 (n = 577)	80.7	13.7	5.6			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	10代, 20代 (n = 141)	74.5	12.1	13.5	72.765	<0.001	0.080
	30代 (n = 242)	63.6	19.8	16.5			
	40代 (n = 781)	57.7	25.1	17.2			
	50代 (n = 1,970)	54.3	25.9	19.8			
	60代 (n = 1,932)	48.9	31.2	19.9			
	70代以上 (n = 577)	47.0	31.0	22.0			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動している	10代, 20代 (n = 141)	44.7	14.9	40.4	75.430	<0.001	0.082
	30代 (n = 242)	37.6	19.4	43.0			
	40代 (n = 781)	30.2	19.7	50.1			
	50代 (n = 1,970)	29.9	20.3	49.8			
	60代 (n = 1,932)	23.3	24.1	52.6			
	70代以上 (n = 577)	24.1	28.4	47.5			
パラスポーツを身近に感じるようになった	10代, 20代 (n = 141)	78.0	12.8	9.2	28.207	<0.05	0.050
	30代 (n = 242)	77.7	12.4	9.9			
	40代 (n = 781)	75.2	13.3	11.5			
	50代 (n = 1,970)	74.8	14.6	10.6			
	60代 (n = 1,932)	70.3	15.9	13.8			
	70代以上 (n = 577)	67.4	17.3	15.3			
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	10代, 20代 (n = 141)	87.9	7.1	5.0	114.276	<0.001	0.101
	30代 (n = 242)	89.3	3.3	7.4			
	40代 (n = 781)	81.9	10.6	7.4			
	50代 (n = 1,970)	80.5	11.3	8.2			
	60代 (n = 1,932)	73.0	17.0	10.0			
	70代以上 (n = 577)	66.7	19.6	13.7			
実際にスポーツをするようになった	10代, 20代 (n = 141)	39.7	24.1	36.2	88.066	<0.001	0.088
	30代 (n = 242)	30.2	29.3	40.5			
	40代 (n = 781)	27.8	28.2	44.0			
	50代 (n = 1,970)	23.2	32.4	44.4			
	60代 (n = 1,932)	18.0	37.1	44.9			
	70代以上 (n = 577)	17.2	39.0	43.8			
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	10代, 20代 (n = 141)	36.2	24.1	39.7	69.056	<0.001	0.078
	30代 (n = 242)	32.6	24.8	42.6			
	40代 (n = 781)	32.8	27.8	39.4			
	50代 (n = 1,970)	27.8	32.9	39.2			
	60代 (n = 1,932)	22.0	36.7	41.3			
	70代以上 (n = 577)	21.1	36.9	41.9			
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	10代, 20代 (n = 141)	63.1	15.6	21.3	40.761	<0.001	0.060
	30代 (n = 242)	49.2	22.3	28.5			
	40代 (n = 781)	52.5	24.1	23.4			
	50代 (n = 1,970)	48.6	27.9	23.5			
	60代 (n = 1,932)	45.9	30.9	23.2			
	70代以上 (n = 577)	44.2	28.2	27.6			

表25 都市ボラの大会後の考え方や行動で変化したこと (年代別)

項目	年代	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
街中で困っていそうな人に声をかけるようになった	10代, 20代 (n = 27)	70.4	3.7	25.9	26.336	<0.05	0.081
	30代 (n = 65)	44.6	29.2	26.2			
	40代 (n = 206)	59.2	26.2	14.6			
	50代 (n = 616)	60.6	27.6	11.9			
	60代 (n = 711)	62.7	26.3	11.0			
	70代以上 (n = 394)	62.9	25.9	11.2			
多様性について意識するようになった	10代, 20代 (n = 27)	85.2	0.0	14.8	14.682	0.144	-
	30代 (n = 65)	76.9	10.8	12.3			
	40代 (n = 206)	78.2	14.1	7.8			
	50代 (n = 616)	80.0	12.5	7.5			
	60代 (n = 711)	83.0	11.5	5.5			
	70代以上 (n = 394)	80.7	13.7	5.6			
語学やその他スキルの向上を目指し学習するようになった	10代, 20代 (n = 27)	63.0	18.5	18.5	9.901	0.449	-
	30代 (n = 65)	55.4	20.0	24.6			
	40代 (n = 206)	59.7	25.7	14.6			
	50代 (n = 616)	51.5	26.9	21.6			
	60代 (n = 711)	51.3	27.4	21.2			
	70代以上 (n = 394)	51.3	27.7	21.1			
東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動している	10代, 20代 (n = 27)	29.6	11.1	59.3	23.884	<0.05	0.077
	30代 (n = 65)	40.0	16.9	43.1			
	40代 (n = 206)	32.5	19.4	48.1			
	50代 (n = 616)	34.7	17.2	48.1			
	60代 (n = 711)	27.4	19.5	53.0			
	70代以上 (n = 394)	25.6	25.4	49.0			
パラスポーツを身近に感じるようになった	10代, 20代 (n = 27)	66.7	14.8	18.5	12.925	0.228	-
	30代 (n = 65)	73.8	12.3	13.8			
	40代 (n = 206)	75.2	15.5	9.2			
	50代 (n = 616)	73.2	14.0	12.8			
	60代 (n = 711)	72.9	14.8	12.4			
	70代以上 (n = 394)	65.5	19.3	15.2			
今まで知らなかった競技(種目)に興味を持つようになった	10代, 20代 (n = 27)	81.5	3.7	14.8	31.194	<0.05	0.088
	30代 (n = 65)	86.2	3.1	10.8			
	40代 (n = 206)	83.0	11.2	5.8			
	50代 (n = 616)	77.4	13.3	9.3			
	60代 (n = 711)	76.2	14.9	8.9			
	70代以上 (n = 394)	68.0	18.3	13.7			
実際にスポーツをするようになった	10代, 20代 (n = 27)	29.6	22.2	48.1	26.107	<0.05	0.080
	30代 (n = 65)	23.1	23.1	53.8			
	40代 (n = 206)	30.1	31.1	38.8			
	50代 (n = 616)	24.0	29.7	46.3			
	60代 (n = 711)	20.1	33.8	46.1			
	70代以上 (n = 394)	18.3	39.6	42.1			

項目	年代	あてはまる	どちらともいえない	あてはまらない	$\chi^2$	P	V
スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった	10代, 20代 (n=27)	37.0	3.7	59.3	43.711	<0.001	0.104
	30代 (n=65)	32.3	20.0	47.7			
	40代 (n=206)	35.4	26.2	38.3			
	50代 (n=616)	30.8	27.9	41.2			
	60代 (n=711)	23.1	36.0	40.9			
70代以上 (n=394)	21.6	36.8	41.6				
テレビ・インターネットでスポーツ観戦するようになった	10代, 20代 (n=27)	66.7	7.4	25.9	19.192	<0.05	0.069
	30代 (n=65)	41.5	21.5	36.9			
	40代 (n=206)	52.9	25.2	21.8			
	50代 (n=616)	48.2	26.8	25.0			
	60代 (n=711)	46.0	31.4	22.6			
70代以上 (n=394)	48.0	26.6	25.4				

## 5 現在のボランティア実施状況

ボランティア活動状況について大会種別に現在のクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、有意な差が認められた(表26, 27)。大会ボラでは、オリ・パラボラにおいて「現在も活動している」という回答が他よりも多かった。また、オリボラでは「東京2020大会以外、活動したことがない」という回答が他よりも多かった。都市ボラでは、大会ボラと同様に、オリ・パラボラについて「現在も活動している」という回答が多かった。

コロナ禍ということもあり、大会以前からのボランティア活動の継続や、大会を機にボランティア活動をはじめたりすることが社会的に難しい状況にあるが、その中でも、約半数が一年後もボランティア活動を継続していることが把握された。「現在も活動している」割合は、大会ボラと比較して都市ボラの方が高くなっている。

表26 大会ボラにおける現在のボランティア実施状況(大会種別)

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
オリボラ (n=2,587)	46.6	19.9	33.5	75.882	<0.001	0.082
パラボラ (n=748)	50.0	18.2	31.8			
オリ・パラボラ (n=2,308)	58.9	15.7	25.4			

表27 都市ボラにおける現在のボランティア実施状況（大会種別）

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
オリボラ (n=912)	59.8	18.8	21.5			
バラボラ (n=160)	57.5	22.5	20.0	43.822	<0.001	0.104
オリ・バラボラ (n=947)	73.2	12.6	14.3			

次に、性別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、ともに有意な差が認められた（表28, 29）。大会ボラ、都市ボラ共に性別では男性の方が「現在も活動している」との回答が多かった。

表28 大会ボラにおける現在のボランティア実施状況（性別）

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
男性 (n=2,671)	58.4	14.9	26.7	82.876	<0.001	0.122
女性 (n=2,928)	46.4	20.6	33.0			

表29 都市ボラにおける現在のボランティア実施状況（性別）

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
男性 (n=992)	73.6	11.9	14.5	54.081	<0.001	0.164
女性 (n=1,009)	58.1	20.2	21.7			

次に、年代別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、大会ボラに有意な差が認められた（表30, 31）。大会ボラ、都市ボラ共に年代の高い方が「現在も活動している」との回答が多かった。

表30 大会ボラにおける現在のボランティア実施状況（年代別）

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
10, 20代 (n=141)	27.0	29.1	44.0			
30代 (n=242)	44.2	24.8	31.0			
40代 (n=781)	45.7	20.0	34.3	117.52	<0.001	0.102
50代 (n=1,970)	50.6	19.6	29.8			
60代 (n=1,932)	55.3	14.4	30.2			
70代 (n=577)	64.3	16.1	19.6			

表31 都市ボラにおける現在のボランティア実施状況（年代別）

大会種別	現在も活動している	1年以上前は活動していたが、現在は活動していない	東京2020大会以外、活動したことがない	$\chi^2$	P	V
10,20代 (n = 27)	44.4	33.3	22.2	23.61	<0.05	0.076
30代 (n = 65)	58.5	20.0	21.5			
40代 (n = 206)	56.8	18.4	24.8			
50代 (n = 616)	64.8	17.4	17.9			
60代 (n = 711)	68.6	14.3	17.0			
70代 (n = 394)	70.1	14.5	15.5			

次に、性別、年代別にクロス集計および $\chi^2$ 検定を行った結果、性別について有意な差が認められた。また、年代別の有意差は認められなかった。大会ボランティアと同様に、性別では男性の方が「現在も活動している」との回答が多かった。

## 6 まとめ

本研究は、大会から一年が過ぎたタイミングで、東京2020大会に大会ボラ、都市ボラとして関わったボランティアのそれぞれの参加動機と活動後の実感度、ならびに現在の活動状況から、東京2020大会がボランティアに与えた影響について分析することを目的とした。

まず、参加動機や活動から得られたことについては、大会ボラ、都市ボラに大きな差は無く、東京2020大会ボランティアという、通常ではなかなか得られない機会に関連する参加動機とともに、大会を通じてボランティア同士をはじめとする交流が得られたことが把握された。特に、参加動機を期待度、活動から得られたことを実感度とすると、大会ボラ、都市ボラの両方において期待度が低かった群においても実感度が大きい傾向にあった項目が、「人と交流したかったから」「自分の日常生活に変化をもたらしたかったから」であった。

また、大会種別では、先行研究同様、パラリンピックを支える動機や得られたことについては、大会特性を反映したものであり、「障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキル」ということが把握された。

性別では、大会ボラ、都市ボラともに女性の「コロナ禍でがんばっている選手を応援したかったから」「自分の視野を広げたかったから」といった、コロナ禍特有の参加動機や、自己成長意識が強いことも把握された。

年代では、若い世代での、キャリアにつながる経験についても動機が強いことが把握された。年代別の特徴としては、清宮・依田（2022）らが行った日本体育大学学生ボラ

ンティアを対象とした調査結果から、特に大学2年生、3年生において、就職を意識した動機が高いことを指摘されており、共通する側面がある。

山下・行實（2015）らは、これまでの先行研究の整理から、スポーツ・ボランティアの参加動機について、「利他心、自己成長、社会適応、技術取得・発揮、レクリエーション、利得・損失計算、規範的参加、理念の実現、テーマや対象への共感」の因子が存在していることを指摘し、それらはスポーツ以外の一般のボランティア参加動機と類似していることを指摘している。本調査の参加動機上位のものを抽出すると、東京2020大会の成功の一助や、大会に関わりたいたいといった「理念の実現、テーマや対象への共感」、自分の視野を広げたい、日常生活に変化をもたらしたい、やりがいのあることをしたいといった「自己成長」、人の役に立ちたい、障害のある人へのサポート方法やコミュニケーションスキルを身につけたいといった「利他心、技術取得・発揮」、人と交流したい新たな友人を作りたいといった「レクリエーション」への動機が高くなっている。

次に、大会後の考え方や行動で変化したことについては、大会ボラ、都市ボラに大きな差は無く、「多様性について意識するようになった」「今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった」「パラスポーツを身近に感じるようになった」項目が上位であった。

大会種別においては、オリ、パラ両方に参加したボランティアの「東京2020大会のボランティア仲間と一緒に活動をしている」「パラスポーツを身近に感じるようになった」への回答が多かった。パラリンピックを通じて変化する内容、あるいは長期の活動によって得られる内容が把握された。性別では、今まで知らなかった競技（種目）、パラスポーツへの興味関心が、男性よりも女性の方が高まっていることが把握された。

年代では、大会ボラにおいて「今まで知らなかった競技（種目）に興味を持つようになった」、都市ボラでは「スタジアムなど競技場でスポーツ観戦するようになった」において、いずれも10代から50代の「あてはまる」への回答が多かった。

次に、現在のボランティア実施状況では、大会ボラと比較して都市ボラの方が実施状況が高くなっているとともに、性別では男性、年代では年代の高い方のボランティア実施状況が高くなっている。

大会ボラと都市ボラの2種類で構成された東京2020大会であったが、大会ボラと都市ボラは、活動内容が大きく異なるものではあるが、参加動機や大会から得られたものについては大きな差はなかった。また、東京2020大会のボランティア活動がボランティア同士の非常に大きな交流を生み出したことも明らかになった。そして、パラリンピックへのボランティア参加は、障がいのある方へのサポート、コミュニケーション、並びに、パラスポーツが身近になることが把握された。

本研究によって、東京2020大会というメガスポートイベントを支えたボランティアの様相の一部が明らかになった。今後は、一年後から二年後にかけてのボランティア継続状況を含めたボランティアレガシーの詳細や、ボランティア同士の結びつき等に着目したボランティアネットワークについても引き続き分析することが課題である。

## 謝辞

調査にご協力いただきましたボランティアの皆さま、調査の実務を担当いただいた日本財団ボランティアサポートセンター（現：日本財団ボランティアセンター）の皆さま、統計処理にご助言頂きました水野陽介氏（文教大学生生活科学研究所）に感謝申し上げます。

## 注

- (1) 日本財団ボランティアセンターは、2010年にNPO法人日本学生ボランティアセンターとして設立され、2015年に一般財団法人日本財団学生ボランティアセンターへ、2017年に公益財団法人へ移行した。2022年には「日本財団ボランティアセンター」へと名称変更し、幅広い世代を対象に、ボランティアに関する事業を実施している団体である。「ほ活！」とは、ボランティア活動とのマッチングやセミナー／イベント、ボランティアライフをサポートするプラットフォームの名称である。
- (2) 尚、本稿内容以外の分析については、その一部を2022年7月22日にアンケート結果をプレスリリースにて発信している。<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000098085.html>, (2022年10月22日)。
- (3) この結果は、二宮雅也, 2022, 「東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その1：大会ボランティアの成果と満足度に着目して」, 日本財団パラスポーツサポートセンターパラリンピック研究会紀要, 19, 47-73においても同様の傾向を確認している。

## 引用参考文献

- 1 清宮孝文, 依田充代, 2022, 『東京2020大会へのボランティア参加動機：Olympic Volunteer Motivation Scale を使用して』, 「オリンピックスポーツ文化研究」, 6, 67-78.
- 2 山下博武, 行實鉄平, 2015, 『スポーツ・ボランティアに関する研究動向：スポーツ経営学からの批判的考察』, 徳島大学人間科学研究, 23, 39-55.
- 3 二宮雅也, 2022, 「東京2020大会を支えたボランティアに関する研究 その1：大会ボランティアの成果と満足度に着目して」, 日本財団パラスポーツサポートセンターパラリンピック研究会紀要, 19, 47-73.



- 4 公益財団法人笹川スポーツ財団, 2020, 『ラグビーワールドカップ2019大会ボランティアに関する調査報告書』.
- 5 特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク, 2021, 『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会日本スポーツボランティアネットワークボランティア活動報告会報告書』.
- 6 日本財団ボランティアセンター監修, 2022, 『ボランティアたちの物語東京2020オリンピック・パラリンピックの記録』, 小峰書店.

# Study of Volunteers Who Supported the Tokyo 2020 Games (Part 2): From the Characteristics of Games Volunteers and City Volunteers

NINOMIYA Masaya

(The Bunkyo University)

The objective of this study is to analyse the impact of the Tokyo 2020 Games on Games and City volunteers one year after the Tokyo 2020 Games, such as their motivation, how they felt after volunteering, and their current volunteer activities. In particular, the characteristics of the two types of volunteers, Games volunteers and City volunteers, are analyzed. The study used the “Tokyo 2020 Games ‘Volunteers’ One Year After Survey” conducted by the Nippon Foundation Volunteer Center as its data base.

The survey items include basic attributes (gender, age, place of residence, occupation, current volunteer activities, frequency of activities, how the volunteering is done, past volunteer activities) and for other items, motivation for participation, what was gained and felt from the activities, changes in attitudes and behaviour after the Games, and current activities. These items are analysed by type of volunteer (Games volunteers and City volunteers), type of event (Olympic Games and Paralympic Games), gender and age.

The results from both Games on motivation for participation and what was gained from the activities, showed that volunteering for the Paralympics enables Games volunteers and City volunteers to achieve their objectives of learning how to support people with disabilities and acquiring communication skills. The results also showed that women have a strong motivation that is specifically related to the COVID-19 pandemic and a strong sense of personal growth, in responses such as “I wanted to support the athletes who are working hard during the COVID-19 pandemic” and “I

wanted to broaden my perspective”. Survey results also indicated that younger people had a strong motivation for participating in experiences that would lead to a career.

Regarding changes in attitudes and behaviour after the Games, regardless of volunteer type, the most common responses among volunteers in both the Olympic and Paralympic Games were “I am participating in activities with fellow Tokyo 2020 Games volunteers” and “I feel closer to Para sports.” The results also showed what changes through the Paralympics and what is gained through long-term activities. By gender, women showed a higher increase in interest in sports (disciplines) that they did not know previously and in Para sports than men.

In terms of current volunteer activities, the City volunteers are more active than the Games volunteers. By gender, men, and by age, older people, are more active.

The content of the activities of Games volunteers and City volunteers are substantively different, but there was no significant difference in motivation for participation and in what they gained from the Games. However, experience volunteering for the Paralympic Games had an impact on motivation for participation and what was gained from the experience, as well as changes in attitudes and behaviour after the Games.